慶應義塾大学

2025年度
法学部外国語科目　履修案内

慶應義塾大学 日吉

目　次

外国語科目履修申告までのスケジュール…… 3
外国語Webエントリーについて …… 5
外国語Webエントリーの方法 …… 6

外国語科目の履修について

第１　英語の履修について（１年生）…… 9
第２　英語の履修について（２年生）……14
第３　ドイツ語の履修について（１年生）……20
第４　ドイツ語の履修について（２年生）……22
第５　フランス語の履修について（１年生）……24
第６　フランス語の履修について（２年生）……27
第７　スペイン語の履修について（１年生）……30
第８　スペイン語の履修について（２年生）……32
第９　中国語の履修について（１・２年生）……34
第10　ロシア語の履修について（１・２年生）……36
第11　朝鮮語の履修について（１・２年生）……37
第12　アラビア語の履修について（１・２年生）……38
第13　必修外国語科目の再履修について（ドイツ語・フランス語・スペイン語・
　　中国語・ロシア語・朝鮮語・アラビア語）……40
第14　必修で定められた単位数以上に外国語科目を履修する場合……45
第15　外国語教育研究センター特設科目について……46
第16　インテンシブコース修了証・外国語成績優秀者表彰について……48

履修する授業を選ぶ際にはWeb上のシラバスをよく読んでください。
また、本書を確認せずに生じた不利益は自己責任となりますので注意してください。

外国語科目(英語)　履修申告までのスケジュール

<table>
<tr><th rowspan="3"></th><th colspan="2">英語(１年生)</th><th colspan="2">英語(２年生)</th></tr>
<tr><th>英語第Ⅱ(レベル２)</th><th>英語第Ⅳ(レベル１)
英語第Ⅳ(レベル２)
外国語特殊(英語)</th><th>英語第Ⅲ
英語第Ⅳ・外国語特殊(英語)
(各継続履修者)</th><th>英語第Ⅳ(レベル１)
英語第Ⅳ(レベル２)
外国語特殊(英語)
(新規履修希望者)</th></tr>
<tr><th colspan="2">英語インテンシブ</th><th colspan="2">英語インテンシブ</th></tr>
<tr><td>３月14日
(金)</td><td colspan="2"></td><td>◆外国語Webエントリー開始
「英語第Ⅲ」
【３月14日(金)10：00～３月19日(水)10:00締切】</td><td></td></tr>
<tr><td>３月25日
(火)
～
３月27日
(木)</td><td colspan="2"></td><td>◆抽選結果発表
３月25日(火)９：00
(K-SupportのNews欄に掲載)
◆英語履修クラス相談手続き
(オンライン)
3月25日(火)９：00～3月27日(木)16：00(予定)
＊詳細はK-SupportのNews欄に掲載
＊上記エントリーを忘れた学生や変更・追加が必要な学生のみ</td><td></td></tr>
<tr><td>３月27日
(木)</td><td></td><td>◆英語選抜試験免除申請
(オンライン)
３月27日(木)９：00～３月29日(土)８：00
＊該当者のみ資格証明の書類を提出すること。
＊継続履修者は手続き不要
＊詳細は11ページ参照</td><td></td><td>◆英語選抜試験免除申請
(オンライン)
３月27日(木)９：00～３月29日(土)８：00
＊該当者のみ資格証明の書類を提出すること。
＊継続履修者は手続き不要
＊詳細は11ページ参照</td></tr>
<tr><td>３月28日
(金)
～
３月29日
(土)</td><td></td><td>◆英語選抜試験(対面)
・「インテンシブ」
３月28日(金)９：00～９：30　インテンシブ(エッセイ)試験、10：00～13：00　インテンシブ(面接)試験
・「上級レベル」
３月29日(土)９：00～10：00 外国語特殊(英語)試験、13：00～14：10　英語第Ⅳ試験
＊継続履修者は受験不要
＊英語インテンシブ・英語第Ⅳ・外国語特殊(英語)の履修を希望する場合のみ、受験が必要です。
＊詳細は、３月27日に新入生お知らせシステムで確認してください。</td><td></td><td>◆英語選抜試験(対面)
・「インテンシブ」
３月28日(金)９：00～９：30　インテンシブ(エッセイ)試験、10：00～13：00　インテンシブ(面接)試験
・「上級レベル」
３月29日(土)９：00～10：00 外国語特殊(英語)試験、13：00～14：10　英語第Ⅳ試験
＊継続履修者は受験不要
＊英語インテンシブ・英語第Ⅳ・外国語特殊(英語)の履修を希望する場合のみ、受験が必要です。
＊詳細は、３月27日にK-SupportのNewsで確認してください。</td></tr>
<tr><td>４月１日
(火)
入学式</td><td colspan="4">◆英語選抜試験(インテンシブ・第Ⅳ・外国語特殊)結果発表　９：00　K-SupportのNews欄に掲載
＊選抜試験に合格した学生は、外国語Webエントリーをすること。

◆外国語Webエントリー開始
「英語第Ⅱ(レベル２)」、「英語第Ⅳ(レベル１)」、「英語第Ⅳ(レベル２)」、「外国語特殊」、「英語インテンシブ(選択クラス)」
【４月１日(火)９：00～４月２日(水)11：00締切】
◆英語インテンシブの継続履修者は、17ページ参照。

◆新入生対象 英語ガイダンス　16：00～16：30
[法律・政治]　Ａ～Ｅ組　J14番教室
[法律・政治]　Ｆ～Ｉ組　J19番教室
[法律・政治]　Ｊ～Ｎ組　J24番教室
[法律・政治]　Ｏ～Ｕ組　J29番教室
＊新入生のみ対象です。
＊法律・政治合同で、クラスで分かれて実施します。
＊本冊子(外国語科目履修案内)を持参すること。</td></tr>
<tr><td>４月２日
(水)</td><td colspan="4">◆外国語Webエントリー締切　【11：00締切】</td></tr>
<tr><td>４月３日
(木)</td><td colspan="4">◆外国語Webエントリー抽選結果発表　11：00　K-SupportのNews欄に掲載
「英語第Ⅱ(レベル２)」、「英語第Ⅳ(レベル１)」、「英語第Ⅳ(レベル２)」、「外国語特殊」、「英語インテンシブ(選択クラス)」
◆英語履修クラス相談手続き(オンライン)　４月３日(木)11：00～４月８日(火)16：00(予定)
＊詳細はK-SupportのNews欄に掲載　＊変更・追加が必要な学生のみ</td></tr>
<tr><td>４月８日
(火)</td><td colspan="4">◆【授業開始】(全授業)</td></tr>
</table>

【春学期】一次申告：４月３日(木)12：30～４月５日(土)16：00 ／ 二次申告：４月７日(月)16：00～４月15日(火)10：00
【秋学期】一次申告：９月24日(水)12：30～９月26日(金)16：00 ／ 二次申告：９月29日(月)16：00～10月８日(水)10：00

※新入生のみ、必修科目は予め自動的に履修登録されている場合があります。自動登録されている場合は自分の履修クラスが正しく登録されているかを確認し、不備等がある場合には履修申告期間中に日吉学生部法学部担当に申し出てください。
※必修科目が自動登録されていない学生は、必ず自身で必修科目も含めた履修申告を各学期に行ってください。Webエントリーで当選した科目も、履修申告が必要です。

外国語科目　履修申告までのスケジュール

	ドイツ語	フランス語	スペイン語	中国語	ロシア語	朝鮮語	アラビア語
3月14日（金）	▼【在学生】外国語Webエントリー開始 「**ドイツ語第Ⅲ**」、「**ドイツ語第Ⅳ**」 「**フランス語第Ⅳ（AⅡ,B）**」 「**スペイン語第Ⅲ**」、「**スペイン語第Ⅳ**」 【3月14日（金）10：00～ 3月19日（水）10:00締切】						
3月25日（火） ～ 3月27日（木）	◆【在学生】抽選結果発表　3月25日（火）9：00　K-SupportのNews欄に掲載 ◆【在学生】外国語履修クラス相談手続き（オンライン） 3月25日（火）9：00～ 3月27日（木）16：00（予定） ＊詳細はK-SupportのNews欄に掲載 ＊上記エントリーを忘れた学生（独仏西のみ）やクラス指定科目が必修科目と重複した場合など、変更が必要な学生のみ						
3月28日（金）		フランス語E組クラス分け詳細公開 ＊K-SupportのNews欄で公開します。 **◆E組：既習者インテンシブ（1年）・フランス語第Ⅳ（AI）（1・2年）** クラス分けフォーム入力 【3月28日（金）10：00～ 3月29日（土）9：00締切】 詳細は25・26ページ					
3月31日（月）		**◆フランス語第Ⅳ（AI）（1・2年）** クラス分け面談 12：00～18：00 詳細は25・26ページ					
4月1日（火）	◆外国語履修クラス相談手続き（オンライン）　4月1日（火）9：00～ 4月8日（火）16：00（予定） ＊詳細はK-SupportのNews欄に掲載 ＊変更・追加が必要な学生のみ						
4月2日（水）		**◆フランス語第Ⅳ（AI）（1・2年）** クラス発表　10：00					
4月8日（火）	◆【授業開始】（全授業）						

【春学期】一次申告：4月3日（木）12：30～ 4月5日（土）16：00 ／ 二次申告：4月7日（月）16：00～ 4月15日（火）10：00

【秋学期】一次申告：9月24日（水）12：30～ 9月26日（金）16：00 ／ 二次申告：9月29日（月）16：00～10月8日（水）10：00

※新入生のみ、必修科目は予め自動的に履修登録されている場合があります。自動登録されている場合は自分の履修クラスが正しく登録されているかを確認し、不備等がある場合には履修申告期間中に日吉学生部法学部担当に申し出てください。

※必修科目が自動登録されていない学生は、必ず自身で必修科目も含めた履修申告を各学期に行ってください。Webエントリーで当選した科目も、履修申告が必要です。

外国語Webエントリーについて

1　エントリーについて

外国語Webエントリーは下記の期間のみ行われ、抽選により、春学期・秋学期の通年で履修する科目が決定されます（再履修のため秋学期科目のみ履修する場合も、必ず下記の期間にエントリーを行ってください）。秋学期には外国語Webエントリーは行われません。

下記一覧表に記載されている科目を履修する場合は、外国語Webエントリーが必要です。

次ページに記載の「外国語Webエントリーの方法」を参照し、手続きを行ってください。

2　エントリー方法

Webエントリーシステム（K-Supportからアクセス可能）

3　エントリーの注意

●同じ科目名でも学年・語種によって、エントリー期間が異なります。必ず、自分が履修を希望する科目名の該当ページを参照し、間違いのないように注意してください。

●コンピュータによるクラス分けで**決定したクラスについて、後から変更することは一切できません。自分が履修する予定の他の必修科目等と重ならないように時間割やシラバスをよく調べてエントリーしてください**。次年度の履修案内・シラバス・時間割は外国語Webエントリー前に、塾生サイトにアップされます。また希望人数の関係やクラスの人数をできるだけ平準化する必要から、上位希望のクラスに空きがあっても入れないこともあります。

4　エントリー期間

下記一覧表を参考に、エントリー期間、科目番号、希望するクラスの選択の誤りなどのないように注意してください。期日を過ぎたエントリーの受付は一切できません。

科目番号	科　目　名	学年	エントリー期間	抽選結果発表
033	英語第Ⅲ(A群)	2年生	3月14日(金) 10：00～19日(水) 10：00締切	3月25日(火) 9：00 K-SupportのNews欄に掲載
034	英語第Ⅲ(B群)	2年生		
030	英語第Ⅱ－レベル2	1年生	4月1日(火) 9：00～2日(水) 11：00締切	4月3日(木) 11：00 K-SupportのNews欄に掲載
031	英語第Ⅳ－レベル1	1年生		
	英語第Ⅳ－レベル1　＊継続履修者	2年生		
035	英語第Ⅳ－レベル2	1年生		
	英語第Ⅳ－レベル2　＊継続履修者	2年生		
099	外国語特殊(英語)	1年生		
	外国語特殊(英語)　＊継続履修者	2年生		
100	英語インテンシブ1年(選択)	1年生		
101	英語インテンシブ2年(選択)	2年生		

※2年生で**新規**に「英語第Ⅳ」「外国語特殊(英語)」「英語インテンシブ」のいずれかの履修を希望する学生は、必ず該当する選抜試験を受け、合格した場合にWebエントリーすること。

科目番号	科　目　名	学年	エントリー期間	抽選結果発表
037	ドイツ語第Ⅲ・第Ⅳ	2年生	3月14日(金) 10：00～19日(水) 10：00締切	3月25日(火) 9：00 K-SupportのNews欄に掲載
038	フランス語第Ⅳ(AⅡ)・Ⅳ(B)			
097	スペイン語第Ⅲ・Ⅳ(A群)			
098	スペイン語第Ⅲ・Ⅳ(B群)			

5　エントリー対象科目の講座番号一覧

塾生サイトに掲載します。Webエントリー画面でも確認可能です。

6　履修申告期間

【春学期】

一次申告：4月3日（木）12：30～4月5日（土）16：00 ／ 二次申告：4月7日（月）16：00～4月15日（火）10：00

【秋学期】

一次申告：9月24日（水）12：30～9月26日（金）16：00 ／ 二次申告：9月29日（月）16：00～10月8日（水）10：00

※新入生のみ、必修科目は予め自動的に履修登録されている場合があります。自動登録されている場合は自分の履修クラスが正しく登録されているかを確認し、不備等がある場合には履修申告期間中に日吉学生部法学部担当に申し出てください。

※必修科目が自動登録されていない学生は、必ず自身で必修科目も含めた履修申告を各学期に行ってください。Webエントリーで当選した科目も、履修申告が必要です。

外国語Webエントリーの方法

（Webエントリーシステム操作方法の詳細はマニュアル参照）
https://www.students.keio.ac.jp/com/class/system/entry-manual.html

Webエントリーシステムにアクセス
（K-Supportからアクセスできます。）

手順1

エントリーする科目を選択

希望順に講座を選択（※）
エントリー画面には春学期の講座名・担当者名のみが表示されますが、秋学期分もセットで選択されます。

登録する内容を確認
受付期間中（締切日時前）であれば、何度でも登録内容を修正することができます。

エントリー完了

手順2

登録された内容確認
受付期間中であれば何度でも登録内容を確認できます。ただし、受付締切日を過ぎると、登録内容は表示されなくなります。

手順3

取り消す科目を選択
取り消したい科目の受付締切日時までに行ってください。

取り消す内容を確認

取り消し完了

抽選結果の確認

履修登録

【春学期】
一次申告：４月３日(木) 12：30～４月５日(土) 16：00 ／ 二次申告：４月７日(月) 16：00～４月15日(火) 10：00

【秋学期】
一次申告：９月24日(水) 12：30～９月26日(金) 16：00 ／ 二次申告：９月29日(月) 16：00～10月８日(水) 10：00

※新入生のみ、必修科目は予め自動的に履修登録されている場合があります。自動登録されている場合は自分の履修クラスが正しく登録されているかを確認し、不備等がある場合には履修申告期間中に日吉学生部法学部担当に申し出てください。
※必修科目が自動登録されていない学生は、必ず自身で必修科目も含めた履修申告を各学期に行ってください。Webエントリーで当選した科目も、履修申告が必要です。

※希望順位について
エントリーする科目の講座番号は塾生サイトに掲載されている各言語「講座番号一覧表」を参照してください。

- 科目によって同じ担当者をWebエントリーできない等のルールがあります。必ず、各語種の履修案内のページを熟読してからWebエントリーを行ってください。
- 同一の講座番号を複数選択した場合は、抽選の対象から外れ、クラスが決定されない場合があります。
- エントリー忘れの場合、履修クラス相談手続きで学習指導が指定した講座を履修するようにしてください。

「英語第Ⅱ－レベル２」	→第８希望まで選択
「英語第Ⅲ（A群）」（A群・B群それぞれ第８希望まで選択）	→第８希望まで選択
「英語第Ⅲ（B群）」（A群・B群それぞれ第８希望まで選択）	→第８希望まで選択
「英語第Ⅳ－レベル１」	→第８希望まで選択
「英語第Ⅳ－レベル２」	→第８希望まで選択
「英語インテンシブ」（選択クラスのみ）	→第６希望まで選択
「外国語特殊」（英語）	→第４希望まで選択
「ドイツ語第Ⅲ・Ⅳ」（第Ⅲ・Ⅳの中から第6希望まで選択）	→第６希望まで選択
「フランス語第Ⅳ（AⅡ）」	→第３希望まで選択
「フランス語第Ⅳ（B）」	→第５希望まで選択
「スペイン語第Ⅲ・Ⅳ（A群）」（A群・B群それぞれ第８希望まで選択）	→第８希望まで選択
「スペイン語第Ⅲ・Ⅳ（B群）」（A群・B群それぞれ第８希望まで選択）	→第８希望まで選択

外国語科目の履修について

法学部

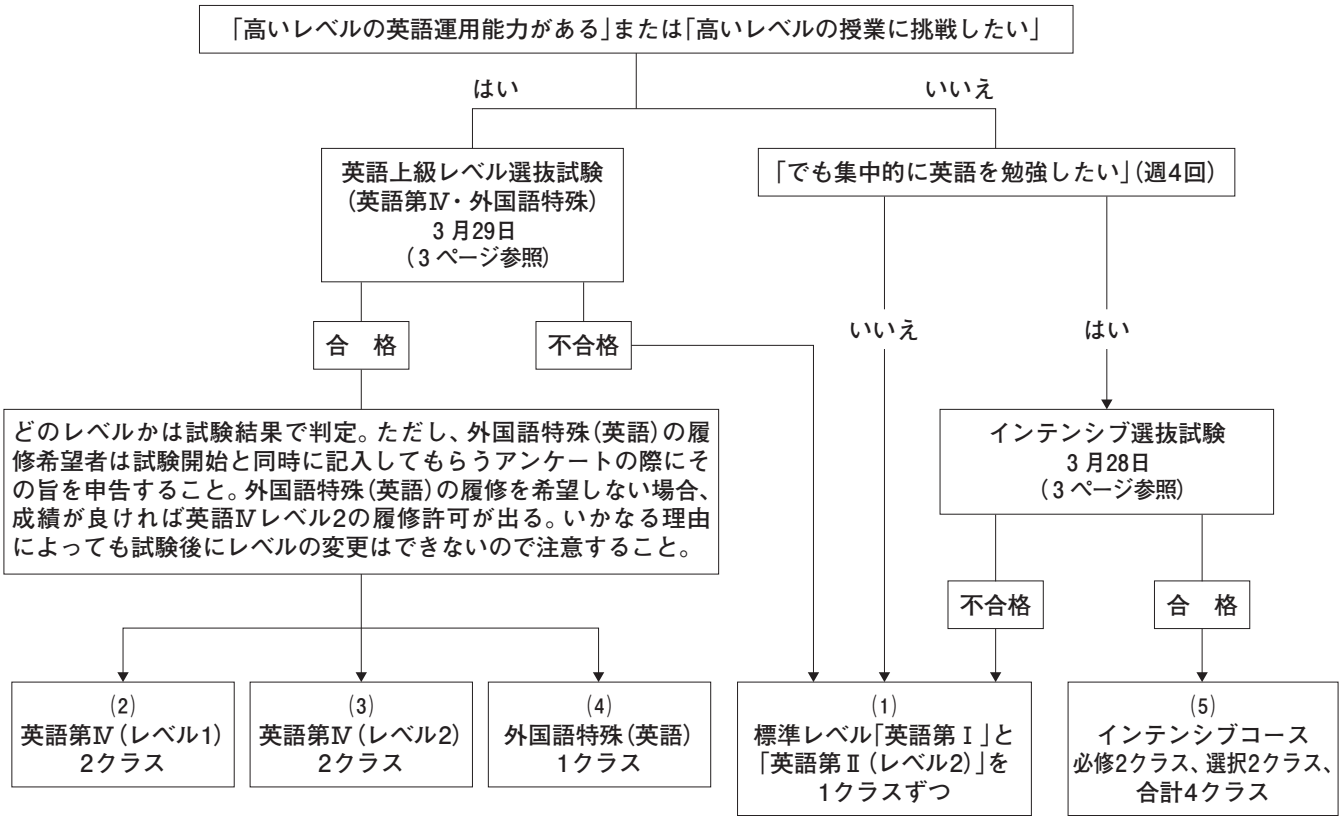
第 1　英語の履修について（１年生）

1　はじめに

履修する英語の授業が決まるまでの流れは、次の通りです。

どの履修形態（コース）にするかを決める。
↓
自分が選んだコースの中のどの授業を選択するかを決める。
↓　　⇒他の必修科目の時間帯を時間割で確認の上、それらと重ならない時間帯の授業を、シラバスを参照して選ぶ。
↓
外国語Webエントリーをする（Web上で外国語履修希望クラスを登録すること）。
↓　　⇒詳しくは、**外国語Webエントリーの方法**の項を参照。
↓
コンピュータによるクラス分け
↓
クラス分け結果発表
↓
履修登録
↓
授業開始

【１年生　履修チャート　(1)〜(5)のいずれかのコースを選んでください。】



2　1年生の履修方法

必修の外国語として英語を選んだ人は、下記の⑷⑸のコースを除き、一週間に異なる内容の授業２クラスを必修科目として履修します。特別な場合を除き、英語の授業は一年間同じ先生が担当しますが、春学期・秋学期ごとにそれぞれ成績がつきます。１クラスにつき半期で１単位、一年間で２単位が与えられるので、それを２クラス分、即ち、合計４単位が必修です。各自の能力や意欲に応じて、原則として次の５種類の履修形態からいずれかを選んでください。

⑴「英語第Ⅰ」を１クラスと「英語第Ⅱ（レベル２）」を１クラス…標準レベル
⑵「英語第Ⅳ（レベル１）」を２クラス
⑶「英語第Ⅳ（レベル２）」を２クラス
⑷「外国語特殊」を１クラス
⑸「英語インテンシブ」を４クラス

留学する場合：留学前にレギュラークラスを受講していた場合は留学後に第Ⅳレベル１を、留学前に第Ⅳレベル１を受講していた場合は留学後に第Ⅳレベル２を履修することになります。留学前に第Ⅳレベル２を受講していた場合は、留学後も原則として第Ⅳレベル２を引き続き受講することになりますが、外国語特殊へのレベルアップを希望する場合には、帰国後に学生部に申し出た上で、外国語特殊の試験免除条件を満たす証明書を提出する必要があります。当試験の合格も免除も得られていない場合には留学後も第Ⅳレベル２を引き続き受講してください。

⑴「英語第Ⅰ」を１クラスと「英語第Ⅱ（レベル２）」を１クラス履修するコース

大学１年生として標準的な英語力の持ち主を想定したコースで、例年過半数の人がこのパターンで履修している標準レベルのコースです。

「英語第Ⅰ」は、自分の属する組に割り当てられたクラスを時間割表で探して履修します。例えば法律学科１年A組の人は、「英語第Ⅰ」というクラス名でA組用の授業が時間割表のどこかに記載されているはずですから、それが自分の履修する授業です。この場合、A組以外の組に割り当てられた英語第Ⅰのクラスは、原則として履修できません。

一方、「英語第Ⅱ（レベル２）」のクラスについては、シラバスの「英語第Ⅱ（レベル２）」の授業説明をよく読んで、時間割上履修可能で自分が興味を持った授業の中から選択して履修します。コンピュータによるクラス分けを行いますので、履修する人は必ず外国語Webエントリーをしなくてはなりません。希望者数の関係から、自分が一番取りたい授業が取れるとは限りません。

「英語第Ⅱ－レベル２」履修手続きについて

＜注意事項＞

※必修科目や他の科目で履修を希望する科目の時間割を避けてクラスを選択すること。
※第８希望まで選択されていない場合は、クラスが決定されない場合があります。
※第８希望まで選択する際、同一講座番号を複数選択することはできません。複数選択した場合は、抽選対象から外れることがあります。
※「英語第Ⅰ」と同じ教員の授業を履修する事はできません。「英語第Ⅰ」の担当教員を確認のうえ、重複しないように選択してください。
※例年、すべての希望クラスから抽選漏れする学生もいます。その場合は履修クラス相談手続き期間に学習指導に相談して、その時点で定員を越えていない授業を履修するようにしてください。
※エントリー忘れの場合は、履修クラス相談手続きの際に学習指導に指定されたクラスを履修してください。

⑵「英語第Ⅳ（レベル１）」を２クラス履修するコース

英語第Ⅳは、英語圏での生活経験がある学生を想定したコースで、１・２年生合同で行います。レベル１あるいはレベル２のどちらのレベルがふさわしいかは、選抜試験、または英語能力テストの評点によって決定されます。TOEFL 92点（IBT）以上に相当する人はこのコースを選択してください。それ以外の人で、日本の高校で英語を得意とした学生も、選抜試験にチャレンジできます。

履修希望者は、①「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受ける、あるいは、②国際的に認められた英語能力テストの高い評点（詳細後述）を証明する、または、③英語での高校教育を受けていたことを証明する必要があ

ります。試験合格後に、レベル２からレベル１へ、またはレギュラークラスへのレベル変更をすることは認められません。

⑶「英語第IV（レベル２）」を２クラス履修するコース

英語第IVについては、上記⑵を参照。TOEFL 100点（IBT）以上に相当する人はこのレベル２を選択してください。英語圏の高校を卒業し、帰国生枠で入学した人は、「英語第IV（レベル２）」あるいは後述する「外国語特殊」のどちらかを履修しますが、英語能力を証明する必要があるので注意すること。

⑷「外国語特殊」を１クラス履修するコース

ネイティブに近い英語力があると自負する人を想定した高度な内容の授業です。１・２年生合同で行います。TOEFL 109点（IBT）以上に相当する人はこのコースを選択してください。「英語第IV（レベル２）」の履修条件を満たしていることが、「外国語特殊」履修の前提条件になります。履修希望者は、①「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受ける、あるいは②国際的に認められた英語能力テストの高い評点（詳細後述）を証明する必要があります。（選抜試験の開始と同時におこなうアンケートで、外国語特殊を希望するか意思確認があります。外国語特殊を希望せず、選抜試験で上位だった場合には第Ⅳレベル2のみ履修許可されます。）

「英語第Ⅳ」「外国語特殊」選抜試験・免除条件・免除申請について

上級クラス選抜試験免除条件

	TOEFL（IBT）	英検	国連英検	IELTS（「アカデミック」のスコアのみ。「ジェネラル」のスコアでは免除不可。）	ケンブリッジ英検	その他
英語第Ⅳ レベル１	92点以上	—	B以上	6.5以上	—	
英語第Ⅳ レベル２	100点以上	１級以上	A以上	７以上	CPE	３年間英語で高校教育をうけていたこと
外国語特殊	109点以上	—	特A級	7.5以上	—	

注１.「外国語特殊」のIELTSによる免除は「7.5以上」ですが、その中でもライティングとスピーキングはそれぞれ7.0以上が必要です。

注２. 慶應義塾ニューヨーク学院に通っていたことは、この表で言う「３年間英語で高校教育をうけていたこと」とはみなされません。表に示されている英語能力証明書類を提出するか、あるいは選抜試験を受ける必要があります。

上級クラスの履修および選抜試験免除を希望する学生は、上記の資格のいずれかを証明する書類（コピー、画像可）を、所定の英語選抜試験免除書類提出期間に、所定フォームからアップロードすること。申請フォームのURL等詳細は３月27日（木）に、新入生は新入生お知らせシステムで、在学生はK-SupportのNews欄でお知らせします。

証明書がない場合は、「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受けてください。

外国語特殊に必要な証明書がない場合は、「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受けてください。「第Ⅳレベル2」の試験免除に必要な証明書がある場合、それを免除申請期間中に提出した上で、「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」も受けて外国語特殊へのレベル・アップを目指してください。。

「英語第IV」「外国語特殊」履修手続きについて

外国語Webエントリー期間：４月１日（火）９：00～４月２日（水）11：00締切

同一講座番号を複数選択することはできません。

＜注意事項＞

※試験を免除された者も、試験の合格者同様、外国語 Webエントリーをすること。

※外国語Webエントリーは履修を許可されたレベル・コースのみ可能です。間違ったレベル・コースでエントリーをすると、抽選対象から外れ、クラスが決定されないので注意すること。試験などで一度決定したレベルは変更できません。

※英語第Ⅳ（レベル１）あるいは英語第Ⅳ（レベル２）にレベルが決定した場合は、該当するレベルのクラスを２つ履修します。それぞれの先生のシラバスをよく読んで、自分の時間割にあったクラスを選んでください。２つのレベル

にまたがって履修することはできません。また、同じ先生の担当するクラスを２つ選ぶことはできません。第８希望まで選択すること。希望のうちから２クラスを決定して発表します。
※外国語特殊に決定した場合はクラスを１つ履修します。それぞれの先生のシラバスをよく読んで、自分の時間割にあったクラスを選んでください。第４希望まで選択すること。希望のうちから１クラスを決定して発表します。
※外国語特殊は一年次に1クラス、二年次に1クラスを履修するのが原則ですが、一年次に単位を取得することができなかった場合には、二年次に2クラスを履修することができます。
※「英語第Ⅳ」および「外国語特殊」を履修する学生は、自分が所属するクラスに指定されている「英語第Ⅰ」を履修する必要はありません。

⑸ 英語インテンシブを４クラス履修するコース

① インテンシブコースの特徴と選抜試験について

英語のインテンシブコースは、英語の運用能力を徹底的に身につけたい人のための２年間連続の集中コースです。２年間続けて履修することによって実力の養成をはかるようにコースが組み立てられていますので、２年間続ける意志のある学生にのみ履修が許可されます。他語種のインテンシブコースを履修する学生がさらに英語インテンシブを履修することはできません。

このコースの特徴は、インテンシブの名にふさわしく、４クラスで１セットであることです。皆さんからよく出る質問は、インテンシブコースと、「英語第Ⅳ（レベル１）」および「英語第Ⅳ（レベル２）」の違いについてですが、インテンシブコースは英語圏に住んだり、英語ですべての授業が行われる学校に通学した経験のない人を対象にしています。４スキルをまんべんなく身につける以外に、ライティングやリスニング、他人の前でのプレゼンテーションなど、個々のスキルにおいて弱点がある人たちが、英語を使って自分の意見を書いたり発表するという、アウトプット型の英語力をつけるための集中コースです。そのために、このコースの履修希望者は、コースとして用意されたクラスの中から必ず４クラスを履修しなければなりませんので、注意してください。また、必修と選択の別にかかわらず、学期中４回以上欠席した場合には、自動的にD評価となります。

単位数は、それぞれ年間２単位の、計８単位となりますが、そのうちの２クラス分の４単位が必修英語の単位となり、残りの２クラス分の４単位が選択外国語科目の単位となります。注意する点は、４クラス中の２クラスは、すでに必修クラスとして設定されていることです。インテンシブコースを受講する人は、必ずⅠ、Ⅱ、Ⅲ（以下のインテンシブコースの時間割参照）のいずれかの組み合わせの必修クラスを受講しなくてはなりません。受講希望者は、履修方法を読み、時間割をよく見て、他の科目（必修、選択必修、他の外国語科目）とぶつからないことを確かめてから履修を決めてください。

なお、必修・選択に関わらず、１クラスでもD評価となった場合には、秋学期の履修申告前にコーディネーターと面談して指示を仰ぐこと。コーディネーターの指示を受けずに英語の履修申告をすることは認められません。秋学期も継続を許可された場合、必修のみ履修することは許されません。継続が認められなかった場合、秋学期に英語第Iおよび英語第II（レベル２）を履修することはできません。

インテンシブコースのもうひとつの特徴は、少人数制をとるために選抜試験を行うことです。履修希望者は必ず試験を受けること。試験の日程と場所は本冊子「外国語科目（英語）履修申告までのスケジュール」を確認してください。

＜注意事項＞

残念ながら選抜試験によって履修が許可されなかった人は、前述した⑴の形態を選んでください。試験に合格した人は、期限までに外国語Webエントリーをすること（選択科目のみ）。合格したあとで、ほかの履修パターンに切り替えることは一切できません。

② **インテンシブコースの履修クラスについて**

１年生時間割

時間割 担当者 コース	1 必修	2 必修	3 選択	
Ⅰ	月曜５限 ロリエ	水曜３限 カーンス	月曜４限 小泉（由）	木曜３限 平沢
Ⅱ	火曜５限 ロリエ	金曜５限 カーンス	水曜２限 大野	金曜１限 ヘンク
Ⅲ	水曜４限 ロリエ	金曜４限 カーンス	水曜５限 ラーソン	金曜２限 横山

２年生選択クラス

3 選択	
火曜１限 ヘンク	火曜２限 古賀
水曜４限 佐藤（元）	木曜４限 星野
水曜５限 永嶋	金曜２限 小泉（由）

４つのクラスは、２つの必修クラスと、２つの選択クラスに分かれます。上の時間割のとおり、１のロリエ先生と、２のカーンス先生のクラスが必修となっています。インテンシブコースを履修する人は、必ずこの二人の先生のクラスを取らなくてはなりません。必修クラスの組み合わせは、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲの３つに分けられています。選抜試験を受験する際に、自分が３つの組み合わせのうち、どれを取れるか、解答用紙に申告するようになっていますので、受験前に、各自、他の科目との兼ね合いを考えて必修クラスの組み合わせを決めておいてください。選抜試験の合格発表は、各自が申告したⅠ、Ⅱ、Ⅲのコース別に行われます。原則として、必修クラスの組み合わせは変更できないので注意してください。

必修クラスが決まった後に、選択クラスを２つ選びます（春学期に必ず秋学期分も登録すること！）。時間割の３にあたるクラスです。それぞれの先生の講義要綱をよく読んで、自分の時間割にあったクラスを選んでください。２年間のあいだに１度はライティングのクラスを履修することを勧めます。選択クラスに関しては、時間割の都合上やむを得ない場合は、２年生用の選択クラスを履修することもできます。ただし、この場合、学習指導の許可が必要です。第６希望まで選択すること。希望のうちから２クラスを決定して発表します。

３　クラス分けについて

コンピュータによるクラス分けで決定したクラスについては、変更は一切認められません。またクラス分けで指定されたクラスを学習指導の許可なしに無断で変更することは認められません（授業担当者の許可だけでは変更不可）。無断で変更した場合、それにより単位取得できないことへの救済措置はありません。

４　外国語Webエントリーを忘れたら

本冊子「外国語科目（英語）履修申告までのスケジュール」を参照して「英語履修クラス相談手続き」を行い、学習指導の指示を仰ぐこと。クラス分けの結果、追加履修可能なクラスのリストが発表されるので、学習指導の許可を得て、その中のいずれかのクラスを履修申告することになります。それ以外のクラスは一切履修できません。やむをえず英語そのものの履修も不可能になってしまう場合も、本人の責任と覚悟すること。

法学部

第 2　英語の履修について（2年生）

1　はじめに

履修する英語の授業が決まるまでの流れは、次の通りです。

どの履修形態（コース）にするかを決める。
↓
自分が選んだコースの中のどの授業を選択するかを決める。
↓　　⇒他の必修科目の時間帯を時間割で確認の上、それらと重ならない時間帯の授業を、講義要綱を
↓　　参照して選ぶ。
外国語Webエントリーをする（Web上で外国語履修希望クラスを登録すること）。
↓　　⇒詳しくは、**外国語Webエントリー**の方法の項を参照
コンピュータによるクラス分け
↓
クラス分け結果発表
↓
履修登録
↓
授業開始

【2年生　履修チャート】

1年生での履修形態	2年生での履修形態			
標準クラス	標準クラス		インテンシブクラス	(準)上級クラス
英語第Ⅰを1クラス と英語第Ⅱ(レベル2) を1クラス	⇨ 英語第Ⅲを2クラス A群、B群から1つずつ	OR	英語インテンシブクラス を4クラス 必修、選択各2クラス	OR 英語第Ⅳ(レベル1) OR 英語第Ⅳ(レベル2) を2クラス
準上級クラス	準上級クラス		上級クラス	
英語第Ⅳ(レベル1) を2クラス	⇨ 英語第Ⅳ(レベル1) を2クラス 原則として昨年度とは異なる 担当者の授業を履修すること	OR	英語第Ⅳ(レベル2) を2クラス	
上級クラス	上級クラス		超上級クラス	
英語第Ⅳ(レベル2) を2クラス	⇨ 英語第Ⅳ(レベル2) を2クラス 原則として昨年度とは異なる 担当者の授業を履修すること	OR	外国語特殊を1クラス	
超上級クラス	超上級クラス			
外国語特殊を1クラス	⇨ 外国語特殊を1クラス			
インテンシブクラス	インテンシブクラス			
英語インテンシブクラス を4クラス 必修、選択各2クラス	⇨ 英語インテンシブクラス を4クラス 必修、選択各2クラス			

※2年生からインテンシブクラスを履修するためには、「インテンシブ選抜試験(面接)」を受けて合格することが必要です。
※2年生から英語第Ⅳ（レベル1）または英語第Ⅳ（レベル2）クラスまたは外国語特殊クラスを履修するためには、「選抜試験」を受けて合格するか、あらかじめ英語能力を証明し試験免除を認めてもらうことが必要です。

２　2年生の履修方法

２年生の場合、英語の必修単位は、２クラス分、４単位です。２年生は、以下の履修パターンの内のいずれか一つを選んで、必修の英語のクラスとしてください。

⑴「英語第Ⅲ」を２クラス
⑵「英語第Ⅳ（レベル１）」を２クラス
⑶「英語第Ⅳ（レベル２）」を２クラス
⑷「外国語特殊」を１クラス
⑸「英語インテンシブ」を４クラス

留学する場合：留学前にレギュラークラスを受講していた場合は留学後に第Ⅳレベル１を、留学前に第Ⅳレベル１を受講していた場合は留学後に第Ⅳレベル２を履修することになります。留学前に第Ⅳレベル２を受講していた場合は、留学後も原則として第Ⅳレベル２を引き続き受講することになりますが、外国語特殊へのレベルアップを希望する場合には、帰国後に学生部に申し出た上で、外国語特殊の試験免除条件を満たす証明書を提出する必要があります。当試験の合格も免除も得られていない場合には留学後も第Ⅳレベル２を引き続き受講してください。

それぞれのコースの特徴は次の通りです。

⑴「英語第Ⅲ」を２クラス履修するコース

２年生の標準コースです。１年生の時に「英語第Ⅱ（レベル２）」を履修していた人を想定しています。

このコースを履修する場合は、外国語科目講義要綱の「英語第Ⅲ」の部分のA群とB群の各々から１クラスを履修します。コンピュータによるクラス分けを行いますので、履修する人は必ず２クラス分の外国語Webエントリーをしなくてはなりません。希望者数の関係から、自分が一番取りたい授業が取れるとは限りませんから、講義要綱をよく読み、自分の時間割ともよく照らし合わせて選択してください。

英語第Ⅲ履修手続きについて

外国語Webエントリー期間

【３月14日（金）10：00～３月19日（水）10：00締切】指定された期間内に必ずエントリーすること。

２クラス分をエントリーしてください。講義要綱に記載の「英語第Ⅲ（A群）」と「英語第Ⅲ（B群）」からそれぞれ履修したい希望のクラスを選択してください。

「英語第Ⅲ（A群）」の講座番号を第１希望～第８希望まで選択し、次に「英語第Ⅲ（B群）」の講座番号を第１希望～第８希望まで選択すること。

＜注意事項＞

※必修科目や他の科目で履修を希望する科目の時間を避けてクラスを選択すること。
※A群とB群の授業を混合してエントリーしないように注意してください。
※履修希望するクラスを第８希望まで選択した際、同一講座番号を複数選択することはできません。複数選択した場合は、コンピュータによる抽選対象から外れることがあります。
※A群とB群で両方同じ担当者の授業をエントリーすることはできません。
※例年、第８希望まで選択しても抽選に漏れてしまうことがあります。その際は、履修クラス相談手続き期間に学習指導に相談し、その時点で定員を越えていない授業を履修するようにしてください。

⑵「英語第Ⅳ（レベル１）」を２クラス履修するコース

英語第Ⅳは、英語圏での生活経験がある学生を想定したコースで、１・２年生合同で行います。レベル１あるいはレベル２のどちらのレベルがふさわしいかは、選抜試験、または英語能力テストの評点によって決定されます。TOEFL 92点（IBT）以上に相当する人はこのコースを選択してください。それ以外の人で、１年次の「英語第Ⅱ（レベル２）」が物足りなかったという人もチャレンジできます。

履修希望者は、①「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受ける、あるいは、②国際的に認められた英語能力テストの高い評点（詳細後述）を証明する（英語での高校教育を受けていたことを証明する）必要があります。試験合格後に、第Ⅲへのコース変更をすることは認められません。

１年生で「英語第Ⅳ（レベル１）」を履修した学生は、２年生でも「英語第Ⅳ（レベル１）」を履修することになっていますが、１年次の「英語第Ⅳ（レベル１）」が物足りなかったという人は、「英語第Ⅳ（レベル２）」を目指して英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ･外国語特殊）を受けて合格するか、またはTOEFLなどの公的試験のスコアを提出することによって「英語第Ⅳ（レベル２）」を履修することが可能です。レベルを下げることはできません。

なお、原則として昨年度と同じ担当者の授業は履修しないでください。これは、履修の機会をできるだけ公平に与えるためです。

⑶「英語第Ⅳ（レベル２）」を２クラス履修するコース

英語第Ⅳについては、上記（２）を参照。TOEFL 100点（IBT）以上に相当する人はこのレベル２を選択してください。１年生の時に「英語第Ⅳ（レベル２）」を履修していた人を想定しています。また、それ以外の人で、１年次の「英語第Ⅱ（レベル２）」「英語第Ⅳ（レベル１）」が物足りなかったという人もチャレンジしてください。

履修希望者は、①「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受ける、あるいは、②国際的に認められた英語能力テストの高い評点を証明する必要があります。試験後に、レベル２からレベル１へのレベルダウンなど、レベル変更をすることは認められません。

１年生で「英語第Ⅳ（レベル２）」を履修した学生は、２年生でも「英語第Ⅳ（レベル２）」を履修することになっていますが、１年次の「英語第Ⅳ（レベル２）」が物足りなかったという人は、「外国語特殊（英語）」の選抜試験を受けて合格するか、またはTOEFLなどの公的試験のスコアを提出することによって「外国語特殊（英語）」を履修することが可能です。レベルを下げることはできません。

なお、原則として昨年度と同じ担当者の授業は履修しないでください。これは、履修の機会をできるだけ公平に与えるためです。

⑷「外国語特殊」を１クラス履修するコース

ネイティブに近い英語力があると自負する人を想定した高度な内容の授業です。１・２年生合同で行います。このコースは４クラス設置されていますが、それぞれ通年で４単位が与えられるので、４クラスのうちのいずれか一つを履修するだけで、必修単位が満たされることになります。TOEFL 109点（IBT）以上に相当する人はこのコースを選択してください。１年生の時に「外国語特殊」を履修していた人は、今年度も続けて「外国語特殊」を履修します。また、昨年「英語第Ⅳ（レベル２）」で物足りなかったという人もチャレンジできます。履修希望者は、①「英語上級レベル選抜試験（英語第Ⅳ・外国語特殊）」を受ける、あるいは、②国際的に認められた英語能力テストの高い評点を証明する必要があります。

★選抜試験・試験免除条件・免除申請については、本冊子「第１　英語の履修について（１年生）」を参照。

＜注意事項＞

※「英語第Ⅳ（レベル１）」あるいは「英語第Ⅳ（レベル２）」は、該当するレベルのクラスを２つ履修します。講義要綱をよく読んで、自分の時間割にあったクラスを選んでください。原則として昨年度と同じ担当者の授業は選択しないでください。第８希望まで選択すること。希望のうちから２クラスを決定して発表します。

※「外国語特殊」はクラスを１つ履修します。講義要綱をよく読んで、自分の時間割にあったクラスを選んでください。第４希望まで選択すること。希望のうちから１クラスを決定して発表します。

※外国語特殊は一年次に１クラス、二年次に１クラスを履修するのが原則ですが、一年次に単位を取得することができなかった場合には、二年次に２クラスを履修することができます。

※必修科目や他の科目で履修を希望する科目の時間割を避けてクラスを選択すること。

⑸「英語インテンシブ」を４クラス履修するコース

①　英語インテンシブコース新規履修希望者へ

英語のインテンシブコースは、英語の運用能力を徹底的に身につけたい人のためのコースです。１、２年生の２年間で英語の実力を養成するようにコースが組み立てられていますので、２年連続の履修が原則ですが、２年生から新規で履修することも可能です。ただし、「インテンシブ選抜試験」に合格しなければ、受講は認められませんので、新規履修希望者は必ず試験を受けること。

このコースの特徴は、インテンシブの名にふさわしく、４クラスで１セットであることです。４スキルをまんべんなく身につける以外に、ライティングやリスニング、他人の前でのプレゼンテーションなど、個々のスキルにおいて弱点がある人たちが、英語を使って自分の意見を書いたり発表するという、アウトプット型の英語力をつけるための集中コースです。そのために、このコースの履修希望者は、コースとして用意されたクラスの中から必ず４クラスを履修しなければなりませんので、注意してください。また、必修と選択の別にかかわらず、学期中４回以上欠席した場合には、自動的にD評価となります。

単位数は、それぞれ年間２単位の、計８単位となりますが、そのうちの２クラス分の４単位が必修英語の単位となり、残りの２クラス分の４単位が選択外国語科目の単位となります。注意する点は、４クラス中の２クラスは既に必修クラスとして設定されていることです。インテンシブコースを受講する人は、必ずⅠ、Ⅱ、Ⅲ（以下の時間割表）のいずれかの組み合わせの必修クラスを受講しなくてはなりません。受講希望者は、履修方法を読み、時間割をよく見て、他の科目とぶつからないことを確かめてから履修を決めてください。

なお、必修・選択に関わらず、春学期に１クラスでもD評価となった場合には、秋学期の履修申告前にコーディネーターと面談して指示を仰ぐこと。コーディネーターの指示を受けずに英語の履修申告をすることは認められません。秋学期も継続を許可された場合、必修のみ履修することは許されません。継続が認められなかった場合、秋学期に英語第Ⅲを履修することはできません。三年次に英語第Ⅲを再履修してください。

インテンシブ選抜試験の日時・場所は本冊子「外国語科目（英語）履修申告までのスケジュール」を確認すること。新規履修希望者は、「インテンシブ選抜試験」を受験する際に自分が以下の時間割に示してある必修クラスの３つの組み合わせのうち、どれを取れるか、解答用紙に申告するようになっていますので、受験前に他の科目（必修、選択必修、他の外国語科目）との兼ね合いを考えて決めておいてください。選抜試験の合格発表は、各自が申告したⅠ、Ⅱ、Ⅲのコース別に行われます。

＜注意事項＞

残念ながら選抜試験によって履修が許可されなかった人は、前述した⑴（英語第Ⅲを２クラス）の形態を選んでください。試験に合格した人は、期限までに外国語Webエントリーをすること。合格したあとで、ほかの履修パターンに切り替えることは一切できません。

②　英語インテンシブコース継続者へ

必修クラスのコース分けは、３月中旬から下旬にかけて、１年次のメーリングリストにより行われます。以下の「③　インテンシブコースの履修方法について」をよく読み、選択クラスについては期限までに外国語Webエントリーを行うこと。

③　インテンシブコースの履修方法について

２年生時間割

時間割 担当者 コース	1 必修	2 必修	3 選択	
Ⅰ	月曜４限 ロリエ	木曜１限 カーンス	火曜１限 ヘンク	火曜２限 古賀
Ⅱ	火曜４限 ロリエ	木曜３限 カーンス	水曜４限 佐藤（元）	木曜４限 星野
Ⅲ	水曜３限 ロリエ	金曜３限 カーンス	水曜５限 永嶋	金曜２限 小泉（由）

１年生選択クラス

3 選択	
月曜４限 小泉（由）	木曜３限 平沢
水曜２限 大野	金曜１限 ヘンク
水曜５限 ラーソン	金曜２限 横山

４つのクラスは、２つの必修クラスと、２つの選択クラスに分かれます。カーンス先生と、ロリエ先生のクラスが必修となっています。インテンシブコースを履修する人は、必ずこの二人の先生のクラスを取らなくてはなりません。上記の表に示してあるとおり、必修クラスの組み合わせは、それぞれⅠ、Ⅱ、Ⅲの３つのコースに分けられています。原則として、必修クラスの組み合わせは変更できませんので注意してください。

必修クラスが決まった後に、選択クラスを外国語Webエントリーで２つ決定します。表の３にあたるクラスです。それぞれの先生の講義要綱をよく読んで、自分の時間割にあったクラスを選んでください。２年間のあいだに１度はライティングのクラスを履修することを勧めます。選択クラスに関しては、時間割の都合上やむを得ない場合は、１年生用のクラスを履修することもできます。ただしこの場合、学習指導の許可が必要です。また、同じ先生の担当するクラスを選ぶことはできません。第６希望まで選択すること。ただし、必修と重なっている場合はこの限りではありません。希望のうちから２クラスを決定して発表します。

なお、必修４単位のうち、１つでもD評価となった場合、三年次は「英語第Ⅲ」を再履修してください。

３　クラス分けについて

コンピュータによるクラス分けで決定したクラスについては、変更は認められません。本人のミス以外の要因で変更の必要が生じた場合を除き、別のクラスに変えてほしいという相談には、一切応じられません。クラス分けで指定されたクラスを学習指導の許可なしに無断で変更することは認められません(授業担当者の許可だけでは変更不可)。無断で変更した場合、それにより単位取得できないことへの救済措置はありません。

４　外国語Webエントリーを忘れたら

本冊子「外国語科目（英語）履修申告までのスケジュール」を参照して「英語履修クラス相談手続き」を行い、学習指導の指示を仰ぐこと。クラス分けの結果、追加で履修が可能なクラスのリストが掲示されるので、学習指導の許可を得て、その中のいずれかのクラスを履修申告することになります。それ以外のクラスは一切履修できません。やむをえず英語そのものの履修が不可能になってしまう場合も、本人の責任と覚悟すること。

５　再履修について

⑴　１年生の時の英語でDを取ってしまった人は

①「英語第Ⅰ」「英語第Ⅱレベル２」がD評価の場合

１年生用の授業のうち、「英語第Ⅰ」、「英語第Ⅱレベル２」または「英語インテンシブ」の必修クラスで評価がDだった人は、不足する単位を補うために、２年生用の「英語第Ⅲ」を余分に必修として履修することになります（２年生が１年生設置の「英語第Ⅰ」・「英語第Ⅱ」で不足分の単位を補うことはできません)。単位が不足する場合は、外国語Webエントリーによる通常のクラス分けで２クラスを決定した後、本冊子「外国語科目（英語）履修申告までのスケジュール」を参照して「英語履修クラス相談手続き」を行い、学習指導の許可を得たうえで、不足分を履修します。

②「英語第Ⅳ」「外国語特殊」がD評価の場合

１年生の時に１年生用の「英語第Ⅳ」、「外国語特殊」のいずれかで評価がDだった人は、原則として同じコースで不足分を履修します。レベルを下げることはできません。単位を補うために、外国語Webエントリーによる通常のクラス分けで２クラスを決定した後、本冊子「外国語科目（英語）履修申告までのスケジュール」を参照して「英語履修クラス相談手続き」を行い、学習指導の許可を得たうえで、不足分を履修します。

＜注意事項＞

※余分に履修することができるクラスは、コンピュータによるクラス分けの結果、追加で履修が可能なクラスに限られます。外国語Webエントリーでは一人２クラスしか決まりませんので、３クラス目以降の希望を予めWebでエントリーすることはできません。どのクラスが履修できるかは、「英語履修クラス相談手続き」時にお知らせします。

※「英語第Ⅲ」の余分に履修するクラスは、「英語履修クラス相談手続き」時に発表されたリストの中のA群、B群のいずれでもかまいません。

※余分に履修する授業において、半期のみ合格すれば必要単位を充足する場合は、半期のみの履修であることを学習指導に申し出てください。その場合、１年生の時に不合格となった学期にかかわりなく春学期の履修となります。

⑵　２年生留年者もしくは３年生以上で英語の必修単位が足りない人は

卒業までの英語の必修単位８単位の内、不足する単位分を必修として履修申告できますが、不足分として履修できるのは２年生用に設置されている授業に限られます。「英語第Ⅲ」、「英語第Ⅳ」、「外国語特殊」は、コンピュータによるクラス分けでクラスを決定しますので、これらを履修する時は外国語Webエントリーを指定された日時までにしなくてはなりません。コンピュータによるクラス分けの際、優遇措置のようなものは一切ありません。また、既に履修して単位を取得した先生の授業に関しては、その内容が異なる場合に限って履修が認められます。以下、補充する必要のある単位数に応じて、履修方法を示します。同一担当者の授業を複数エントリーすることはできません。

①　補充する単位が２単位以下の時

「英語第Ⅲ」を履修する場合は、「英語第Ⅲ（A群）」または「英語第Ⅲ（B群）」を選択し、選択した群のみにエントリーを行います。必ず第８希望まで選択すること。

「英語第Ⅳ」を履修する場合は、必ず１年時と同じレベルのクラスを選び、エントリーを行います。

＜注意事項＞

※１単位だけを補充する場合は、コンピュータによるクラス分けで割り当てられたクラスの春学期のみしか必修としては履修登録できません。

※２単位補充する場合は、原則として通年で１クラス受講してください。

②　補充する単位が３単位または４単位の時

「英語第Ⅲ」を履修する際は、「英語第Ⅲ（A群）」と「英語第Ⅲ（B群）」の両方にエントリーを行います。履修予定の他の授業や自分の時間割をよく調べ、それぞれできるだけ第８希望まで選択すること。

「英語第Ⅳ」を履修する際は、必ず１年時と同じレベルのクラスを選び、エントリーを行います。

＜注意事項＞

※３単位を補充する場合は、コンピュータによるクラス分けで割り当てられた２クラスの内、いずれか一方を春学期のみ必修として履修登録します。

※４単位補充する場合は、原則として通年で２クラス受講してください。

③　補充する単位が５単位以上の時

外国語Webエントリーで、「補充する単位が３単位または４単位の時」と同じ手続きを行った上で、英語履修クラス相談手続き時に発表される追加で履修が可能なクラスのリストから不足分を更に補充します。外国語Webエントリーでは一人２クラスしか決まりませんので、３クラス目以降の希望を予めWebでエントリーすることはできません。英語履修クラス相談手続きを必ず行い、学習指導の指示を受けること。

⑶　必修の英語の授業は三田にはない

三田キャンパスにも英語の授業は設置されていますが、それらは全て選択外国語の授業で、必修の単位に振り替えることはできません。従って、日吉在籍中に英語を８単位取得できなかった人は、必修の英語の単位を充足するために三田から日吉に授業を取りにこなければならないので注意してください。

法学部

第3 ドイツ語の履修について（1年生）

1 はじめに

法学部でドイツ語を選択した1年生は、**レギュラーコース**または**インテンシブコース**をえらび、1年次、2年次に必修外国語の単位を取得します。意欲があれば、3年次以降も三田でドイツ語を学ぶことができます。

なお、日吉でドイツ語以外の外国語を履修した後、三田に移ってからドイツ語を新たに始めようとする人のために、**速習コース**が設けられています。ただしこれは必修外国語の単位には含まれません。

諸事情により、変更が生じる可能性があります。

2 各コースの概略

1）レギュラーコース
2）インテンシブコース
3）速習コース（3・4年次。必修外国語の単位に含まれない）
さらにこれに加えて、法学部内外に設置されたさまざまなドイツ語の授業科目を履修して、力を伸ばすことができます。

各コースの目標と授業の内容

1）レギュラーコース（日吉キャンパスに設置）

レギュラーコースの目標：
［1年間での予定到達度］基礎文法の修了、簡単な文章の読み書き・会話ができる。
［2年間での予定到達度］より高度な内容の読解・会話ができる。

各学年での授業形態と履修方法：
1年次（初級）
授業形態：通年毎週90分×2回（ドイツ語第Ⅰおよび第Ⅱ）を1名の教員が担当する。
履修方法：指定されたクラスで受講する。

2年次（中級）
授業形態：毎週90分×1回の各種の授業（ドイツ語第Ⅲおよび第Ⅳ）が多数設置されている。
履修方法：ドイツ語第Ⅲまたは第Ⅳの授業から2つを自由に選択して履修する。

※1年および2年の課程を修了した人は、三田に設置されるドイツ語中級（ドイツ語第Ⅴ）を選択履修して、勉強を続けることができます。
※日吉でドイツ語中級（ドイツ語第Ⅲまたは第Ⅳ）の履修がまだ済んでいない人は、三田に設置されるドイツ語中級（ドイツ語第Ⅴ）を履修することはできません。また、三田キャンパスには必修のドイツ語中級（ドイツ語第Ⅲおよび第Ⅳ）の授業は設置されません。従って、必修のドイツ語中級（ドイツ語第Ⅲまたは第Ⅳ）の単位が充足されていない3年生以上の学生は、不足分（ドイツ語第Ⅲまたは第Ⅳ）を日吉キャンパスまで通って履修することになります。

2）インテンシブコース（日吉キャンパス・三田キャンパス）

インテンシブコースは特に意欲のある人のために設けられたものです。**定員は25人**です。

インテンシブコースの目標：
［1年間での予定到達度］簡単な文章を読んで理解することができる。基礎的なコミュニケーションができる。
［2年間での予定到達度］新聞雑誌等の記事を読んで理解することができる。日常の言語生活には支障がない。

［４年間での予定到達度］より高度な文章表現、口頭発表、議論、簡単な内容での逐次通訳ができる。

各学年での授業形態と履修方法：

授業形態：

１年次　（初級）毎週90分×３回を１名の日本語母語話者教員が担当
　　毎週90分×１回を１名のドイツ語母語話者教員が担当
２年次　（中級）毎週90分×２回を日本語母語話者教員が担当
　　毎週90分×２回を１名のドイツ語母語話者教員が担当
３年次以降（上級）毎週90分×１回を１名の日本語母語話者教員が担当
　　毎週90分×３回を２名のドイツ語母語話者教員が担当

履修方法：１～２年次では週４回の授業をセットで履修する。

単位数の計算：１年次、２年次の合計16単位中８単位が必修（レギュラーコースの必修単位に相当）、残りの８単位は選択外国語の単位として認定され、ともに卒業・進級単位となる。

３）速習コース（三田キャンパスに設置）

対象：ドイツ語未習者

速習コースの目標：春学期で初級文法の大半を終え、秋学期では中級レベルを学習する。大学院修士課程のドイツ語入試に合格できる程度の文章読解能力の習得を目指す。

授業形態：

春学期（初級）毎週１回（90分×２）を１名の日本人教員が担当
秋学期（中級）毎週１回（90分×２）を１名の日本人教員が担当
※担当者名・授業内容などの詳細は三田の履修案内を参照のこと。

３　第3の外国語としてドイツ語を履修する場合

第３の外国語としてドイツ語を履修する場合は、選択外国語科目として認定され、進級・卒業単位に含めることができます。履修を希望する人はドイツ語学習指導担当教員（今年度は許 光俊）に申し出てください。

４　法学部設置の自由選択のドイツ語授業科目

三田キャンパス設置のドイツ語中級（ドイツ語第Ⅴ）

対象：日吉キャンパス設置のドイツ語中級（ドイツ語第Ⅲまたは第Ⅳ）修了者およびその他のドイツ語既習者で許可された者

中級（ドイツ語第Ⅴ）の目標と各講座の内容：それぞれの担当教員によって異なる。詳しくは全学部共通外国語科目履修案内、または法学部履修案内（三田）を参照のこと。

授業形態：毎週90分×１回の各種の授業を春学期および秋学期に設置する。

履修方法：１コマ以上を自由に選択して履修する。

法学部

第 4　ドイツ語の履修について（２年生）

1　レギュラー・コース（中級）

第２学年および第３・４学年

第２学年のドイツ語中級の授業は、ドイツ語第Ⅲおよび第Ⅳです。第１学年の初級とは異なり、受講するクラスを自由に選択することができます。**オンライン上のシラバスをよく読んで、授業内容を理解してください。**以下に述べる注意をよく読んだうえで、間違いなく履修申告手続きをしてください。コンピューターで処理されるため、手続きの不備によるトラブル等のないよう十分な注意が必要です。なお、**第１学年のドイツ語初級不合格の人が中級を履修することはできません。**

履修上の注意

1）第２学年設置の中級（ドイツ語第Ⅲまたは第Ⅳ）の授業から週２回（合計４単位）を必修とする（Ⅲのみ、あるいはⅣのみでもよい）。

2）シラバスの「ドイツ語第Ⅲ」「ドイツ語第Ⅳ」講座番号一覧表の中から自由に選択し、外国語Webエントリーをすること。その際、**必ず第６志望まで入力すること。**

なお、中級は授業内容により、ドイツ語第Ⅲ・第Ⅳの２つの異なるグレードに分かれている。

第Ⅲ：初級合格者全員を対象とする標準的な中級クラス。

この科目を履修した受講者には標準点としてBが与えられる。ただし、努力次第ではSまたはAの場合もあり、反対に努力が不足すればC以下の場合もある。

第Ⅳ：中級としてはやや程度が高いコース。

この科目を履修した受講者には標準点としてAが与えられる。ただし、努力次第ではSの場合もあり、努力不足によりB以下の場合もある。

初級（ドイツ語第Ⅰおよび第Ⅱ）の評価がSやAの人はぜひとも積極的に履修して下さい。

3）外国語Webエントリー方法について

1．本書「外国語Webエントリーについて」の項を参照のこと。

2．希望する授業の講座番号を「希望順位」ごとに選択する。第６志望まで記入されていないと抽選の対象とならない。また同一講座番号を複数選択するとすべて無効となる。

3．他の必修授業と重ならないように注意して授業を選択すること。

4．希望するクラスの選択間違いのないように注意し、「外国語Webエントリー」を完了すること。エントリー期間等詳細は、本書「外国語Webエントリーについて」を参照ください。

5．履修を許可する授業の発表はK-SupportのNews欄に掲載する。その際、受講を許可された授業は本冊子の「ドイツ語第Ⅲ」「ドイツ語第Ⅳ」講座番号一覧表の講座番号によって示す。発表後、受講が決定した授業の変更は、開講される曜日・時限が他の必修科目と重複するなど、特定の条件をみたす場合を除いては許可しない。

6．外国語Webエントリーを行わなかった場合は、本冊子「外国語科目履修申告までのスケジュール」を参照して「外国語履修クラス相談手続き」を行い、担当教員（今年度は許 光俊）の指示を仰ぐこと。ただし、この時点ではすでにクラス編成が終了しているため、履修可能な授業はきわめて限られる。時間割の関係では、その年度のドイツ語科目の履修が不可能になる場合もある。

4）選択外国語科目（第３の外国語）としてドイツ語を履修する場合は、ドイツ語学習指導担当教員（今年度は許 光俊）に申し出ること。

２　インテンシブコース（中級）

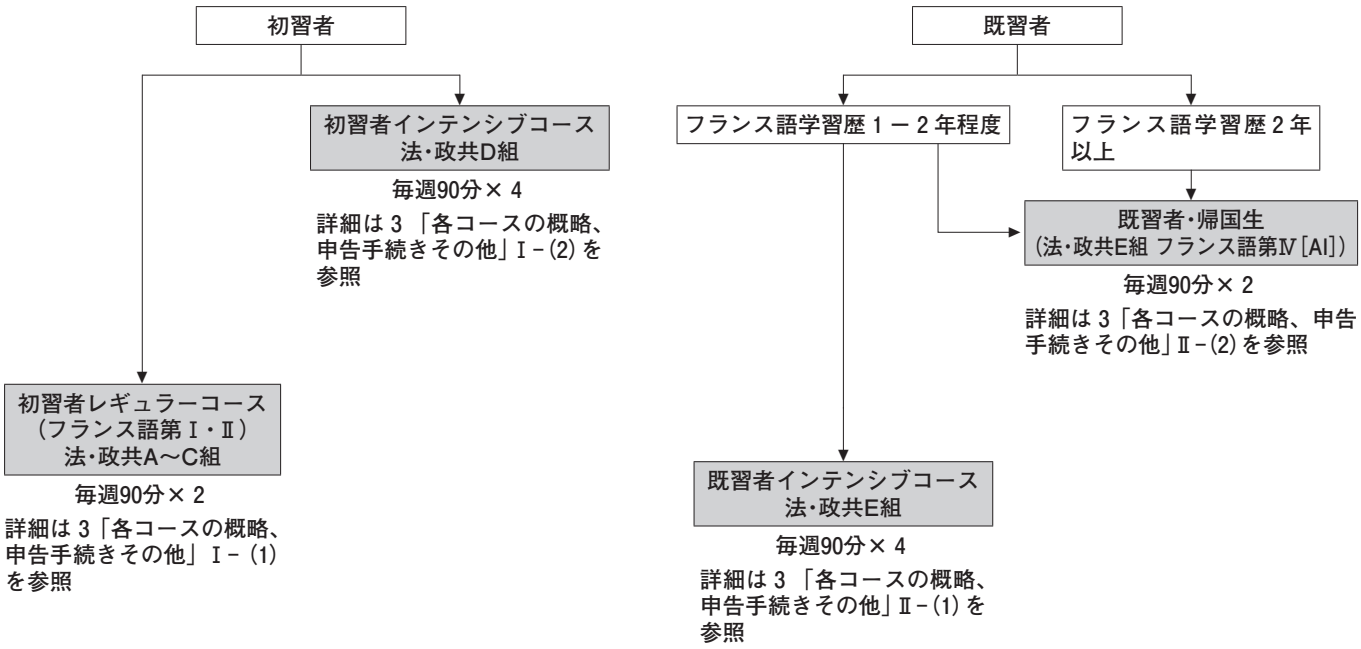
2024年度１年生には、年度末までに中級での所属クラスを知らせます。

１組：許　光俊、吉田　真、オルランド, ダヴィデ
２組：鎌倉　澄、馬場浩平、ブッヘンベルゲル, ステファン
　定員はそれぞれ最大で20名とします。

法学部

第 5　フランス語の履修について（1 年生）

1 年生　履修チャート



1　はじめに

法学部では、4 年次まで継続的にフランス語の授業が設置されています。1・2 年次にはフランス語の基礎知識と運用能力を養い、3・4 年次には読解、会話、作文など、各人の目的や好みに合った授業を選んで実践能力のグレードアップをはかることができます。

外国語の学習には持続力が大切です。卒業まで、そして卒業した後も、末長くフランス語とつきあえるよう願っています。そしてフランス語の学習と実践を通して、違ったものの見方や感性を知り、複眼的思考を養ってください。グローバル化とは画一化ではなく、世界の多様性を認識することなのです。

2　共通教科書と一斉テストについて

法学部のフランス語第Ⅰ、第Ⅱ（初級）、第Ⅲ（中級指定クラス）では、全クラス（初習レギュラー、初習インテンシブとも）共通教科書（クラスによっては他に副教材）を使用し、1 年春・秋学期末、2 年春・秋学期末に一斉テストを実施します。なお、既習インテンシブクラス、既習者・帰国生クラスは各担当教員の指示に従ってください。

- **1 年春学期**：Zoom!　第一部
- **1 年秋学期**：Zoom!　第二部
- **2 年春学期**：Zoom!2　第一部
- **2 年秋学期**：Zoom!2　第二部

３　各コースの概略、申告手続きその他

Ⅰ．初習者

Ⅰ-(1) 初習者レギュラーコース（フランス語第Ⅰ・第Ⅱ）：法律・政治共にA～C組

■初習者を対象とした標準コース。毎週90分×２。

★授 業 内 容：１年次はフランス語の発音や基礎文法および口語表現を身につけます。

★申告手続き：時間割に記載された自分の指定クラス（A～C組のいずれか、週２コマ分）を履修します。
＜外国語Webエントリー＞は不要です。

Ⅰ-(2) 初習者インテンシブコース：法律・政治共にD組

■初習者用の少人数集中学習コース。毎週90分×４。

- 春秋合計８単位のうち、４単位が必修、４単位が選択外国語の単位。選択部分の単位も進級・卒業単位となります。
- インテンシブコース履修者は４単位分、上限を超えて履修することが可能です。詳しくは『法学部履修案内』の「履修上限について」を参照してください。

★授 業 内 容：日本人教師が週３回、ネイティブ教師が週１回担当。フランス語の発音、基礎文法、口語表現の実際的運用能力を養成します。

★申告手続き：時間割に記載された自分のクラス（D組、週４コマ分）を履修します。
＜外国語Webエントリー＞は不要です。

★備　　考：２年次では、日本人教師が週２回、ネイティブ教師が週２回を担当。中級文法へステップアップすると共に、会話や作文の練習を重ねて、フランス語の総合的な実践能力を養います。

Ⅱ．既習者

＊学習歴１年の学生は初習者用コースを履修することもできます。

＊学習歴１～２年程度で週２コマを希望する学生、学習歴２年以上の学生、文法事項を一通り学習し終えている学生、より高いレベルを希望する学生は、**既習者・帰国生コース**を履修してください。既習者インテンシブコースと迷う場合は、クラス分けフォームにその旨を入力し、クラス分け面談を受けてください。

〈フランス語学習歴１～２年程度〉

Ⅱ-(1) 既習者用インテンシブコース：法律・政治共にE組

■学習歴１～２年程度の既習者用の少人数集中学習コース。毎週90分×４。

- 春秋合計８単位のうち、４単位が必修、４単位が選択外国語の単位。選択部分の単位も進級・卒業単位となります。
- インテンシブコース履修者は４単位分、上限を超えて履修することが可能です。詳しくは『法学部履修案内』の「履修上限について」を参照してください。

★授 業 内 容：日本人教師が週２回、ネイティブ教師が週２回担当。基礎文法の確認をしながら、フランス語の知識と自己表現能力のグレードアップをはかります。

★申告手続き：３月28日（金）10：00～３月29日（土）９：00の間に必ず指定のクラス分けフォームに必要事項を入力してください。
その後、時間割に記載された自分のクラス(E組、週４コマ分)を履修します。
＜外国語Webエントリー＞は不要です。

〈フランス語学習歴１～２年あるいはそれ以上〉

Ⅱ-(2) 既習者・帰国生コース：法律・政治共にE組

■１～２年あるいはそれ以上のフランス語学習歴がある学生、および海外でのフランス語学習歴が長期にわたる学生用のコース。「フランス語第IV（AI)」を週２コマ履修します。毎週90分×２。

- このコース（既習者・帰国生コース）の履修者は、他の語種のインテンシブコースも履修することが可能です。
- このコースは開講授業の数が限られているため、変更ができません。他言語のクラスを履修する場合は、フランス語の授業と重ならないよう注意してください。
- 「フランス語第IV（AI)」の登録番号は、２年生の時間割で確認してください。
- フランス語学習歴２年以上の既習者・帰国生用クラスは１・２年共通のクラスです。

★授 業 内 容：各々のフランス語能力に応じた授業（文法総復習の授業から、フランス語による討論を行う授業まで）を行います。詳しくは「フランス語第IV（AI)」のシラバスを参照してください。

★申告手続き：３月28日（金）10：00～３月29日（土）９：00の間に必ず指定のクラス分けフォームに必要事項を入力してください。

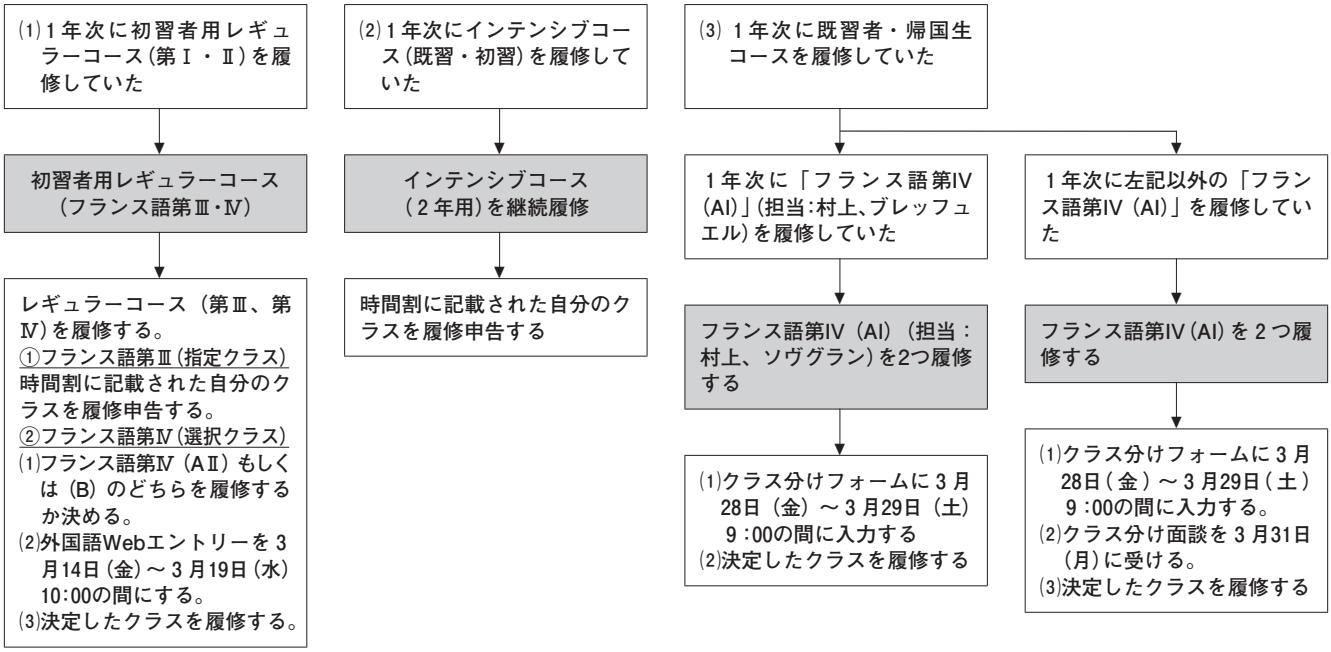
① フランス語学習歴１～２年程度の既習者は、クラス分けフォームに必要事項を入力し、「フランス語第IV（AI）－中級文法」（担当：大出　敦）および「フランス語第IV（AI）－初級会話」（担当：ブレッフュエル，ロミュアルド）を履修申告してください。

② フランス語学習歴２年以上の既習者、帰国生は、学習度や希望に沿ってクラス分けを行います。クラス分けフォームに必要事項を記入し、クラス分け面談を受けてください。面談は３月31日（月）12：00～18：00の間にWeb会議システムを用いて行います。詳細な面談時間・URL等はクラス分けフォーム入力後に連絡しますので、K-Supportに登録したメールアドレス宛の連絡に注意していてください。面談後、４月２日（水）に結果を通知します。そこで決定したクラスを履修申告してください。

法学部

第６　フランス語の履修について（２年生）

１　2年生履修チャート



２　設置コース

■第２学年で設置されている各コースは、第１学年で設置されていた⑴初習者用レギュラーコース、⑵インテンシブコース（既習・初習）、⑶既習者・帰国生コースの、それぞれ後継コースです。

第２学年（中級課程）初習者用レギュラーコースの授業は、１クラスは指定ですが、もう１クラスは自分でグレード別にクラスを選択することができます。選択クラス（フランス語第Ⅳ）のグレードは以下の通り。

○中級ＡⅠ：既習者・帰国生のための授業。１・２年次共通。

○中級ＡⅡ：授業内容はやや高度。１年次の成績がSまたはAの人はこの授業を履修することが望ましい。

○中級Ｂ　：第２学年の中級課程として標準的な内容の授業。

※各コースの授業内容に関しては、外国語科目講義要綱を参照してください。

３　各コースの概略、申告手続きその他

初習者レギュラーコース

■フランス語第Ⅲ・フランス語第Ⅳ（ＡⅡまたは B）。毎週90分× 2

★**授 業 内 容**：２つの独立したクラスで構成されます。

① **指定クラス**（フランス語第Ⅲ）：初級文法の再確認をしながらさらに強化し、書き言葉にも対応できる知識の獲得を目指します。＜外国語Webエントリー＞は必要ありません。

② **選択クラス**（フランス語第Ⅳ〔ＡⅡまたはB〕）：読解、会話、作文など、さまざまなメニューから学びたい授業を選ぶことができます。＜外国語Webエントリー＞が必要です。

※選択クラスの授業内容についてはシラバスを参照してください。

★申告手続き：

① 指定クラス（フランス語第Ⅲ）の履修手続き

時間割に記載された自分のクラスを履修します。

② 選択クラス（フランス語第Ⅳ）の履修手続き

選択クラスを決定するために、＜外国語Webエントリー＞が必要です。エントリー期間等詳細は、本書「外国語Webエントリーについて」を参照してください。AⅡを希望する場合は第３希望まで、Bを希望する場合は第５希望まで選択してください。なお、外国語Webエントリーに際しては、コンピュータ処理のため、不備のないよう充分注意してください。選択不備、同一講座番号の重複登録、外国語Webエントリー忘れなどの場合、履修できないことがあります。また英語などの必修クラスと重ならないように注意してクラスを選択してください。

※外国語Webエントリーを忘れた場合

本冊子「外国語科目履修申告までのスケジュール」を参照して「外国語履修クラス相談手続き」を行い、学習指導の指示を仰ぐこと。

この場合、希望のクラスを履修できるとは限りません。時間割の都合で履修可能なクラスがなかったとしても本人の責任と覚悟すること。

③ 履修申告

①フランス語第Ⅲ（クラス指定）と②フランス語第Ⅳ（外国語Webエントリーにより決定したクラス）を履修します。

＊クラス決定後の変更は原則認められません。不明点があれば、フランス語学習指導（アンリ，ナタリー）に相談してください。

★備　　考：３・４年次（三田）には必修科目ではなくなりますが、ぜひ継続してください。

インテンシブコース

■週４回で春秋合計８単位のうち、４単位が必修、４単位が選択外国語の単位です。選択の単位は進級・卒業単位となります。なお、インテンシブコース履修者は４単位分、上限を超えて履修することが可能です。詳しくは『法学部履修案内』の「履修上限について」を参照してください。

＊留学帰国後の選択科目２コマは履修しなくてもよいこともあります。希望者は必ず履修申告期間前に学習指導に相談してください。

★授 業 内 容：２年次では、１年次の初習者用コース、既習者用コースのいずれも日本人教師が週２回、ネイティブ教師が週２回を担当。中級文法へ歩を進めると共に、会話や作文の練習を重ねて、フランス語の総合的な実践能力を養います。

★申告手続き：４クラス全てを履修します。外国語Webエントリーをする必要はありません。

★備　　考：３年次では、読解、作文、会話の演習でさらに実践能力を高めます。４年次まで学習を続けることで、将来の職場においても、また学問研究においても、充分に高度な内容のフランス語を役立てることができるでしょう。フランス語圏への留学を目指す人は、留学前に語学能力試験、特にDELF B１/B２を取得するよう心がけてください。

既習者・帰国生コース

Ⅰ．第1年次に「フランス語第IV（AI）－中級文法」（担当:村上由美）および「フランス語第IV（AI）－初級会話」（担当:ブレッフュエル，ロミュアルド）を履修した学生

■フランス語第IV（AI）。毎週90分×２。

★授 業 内 容：２年次では、フランス語第IV（AI）のクラスを２つ（村上由美担当およびソヴグラン、シルヴァン担当クラス）を履修し、中級レベルへの到達を目指します。

★申告手続き：３月28日（金）10：00～３月29日（土）９：00の間に必ず指定のクラス分けフォームに必要事項を入力し、上記の２つのクラスを履修申告してください。

★備　　考：３、４年次（三田）には必修科目ではなくなりますが、フランス語科目が用意されています。できるだけ継続履修をしてください。

Ⅱ．第1年次にⅠ以外の「フランス語第Ⅳ（ＡⅠ）」を履修した学生

■フランス語第IV（AI）１・２年生共通。毎週90分×２。

★授 業 内 容：外国語科目講義要綱「フランス語第Ⅳ（ＡⅠ）」の項を参照してください。

★申告手続き：３月28日（金）10：00～３月29日（土）９：00の間に必ず指定のクラス分けフォームに必要事項を入力してください。

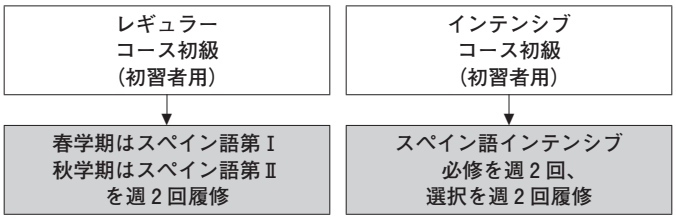
学習度や希望に沿ってクラスを指定しますので、クラス分け面談を受けてください。面談は３月31日（月）12：00～18：00の間にWeb会議システムを用いて行います。詳細な面談時間・URL等はクラス分けフォーム入力後に連絡しますので、K-Supportに登録したメールアドレス宛の連絡に注意していてください。面談後、４月２日（水）に結果を通知します。そこで決定したクラスを履修します。

★備　　考：三田にはより高いレベルのフランス語による演習クラス（人文科学研究会、アンリ，ナタリー担当）が用意されていますので、是非継続して学習してください。

法学部

第 7　スペイン語の履修について（1 年生）

1 年生　履修チャート



1　レギュラーコース初級（初習者用、週2回）

第 1 学年設置科目のスペイン語第Ⅰ（春学期）および第Ⅱ（秋学期）を週 2 コマ履修します。週 2 コマを同一教員が担当し、1 年間で初級文法をひととおり学習します。授業担当者、使用教科書は下表のとおりです。授業の計画などについては、K-Supportのシラバスを参照してください。

クラス	担当者	タイトル	著者	出版社
法律Ｌ組	渡辺　裕木	『スペイン語の基礎　新正書法改訂版』	木村琢也	朝日出版社
法律M組	杉山　佳子	『アクシオン！〈三訂版〉』	四宮瑞枝、落合佐枝、パロマ・トレナド・デアン	白水社
法律Ｎ組	仲道　慎治	『イメージ・スペイン語』	エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治	朝日出版社
法律Ｏ組	本谷　裕子	『くろねこと一緒にスペイン語文法』	豊田唯、西村亜希子	朝日出版社
法律Ｐ組	和田　杏子	『エクスプレサテ！―文法から表現へ、スペイン語総合レッスン―』	野村明衣、砂原由美	朝日出版社
法律Ｑ組	杉下由紀子	『スペイン語の基礎　新正書法改訂版』	木村琢也	朝日出版社
政治Ｌ組	政田　利奈	『イメージ・スペイン語』	エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治	朝日出版社
政治M組	伊香　祝子	『くろねこと一緒にスペイン語文法』	豊田唯、西村亜希子	朝日出版社
政治Ｎ組	杉下由紀子	『スペイン語の基礎　新正書法改訂版』	木村琢也	朝日出版社
政治Ｏ組	折井　善果	『スペイン語のある風景』	エウヘニオ・デル・プラド、齋藤華子、仲道慎治	同学社
政治Ｐ組	荻野　　恵	『アクシオン！〈三訂版〉』	四宮瑞枝、落合佐枝、パロマ・トレナド・デアン	白水社
政治Ｑ組	工藤　由美	『くろねこと一緒にスペイン語文法』	豊田唯、西村亜希子	朝日出版社

2　インテンシブコース初級（初習者用、週4回）

週 4 回の授業のうち、2 回が文法速習授業（必修外国語科目扱い）、残りの 2 回が口語表現演習授業（選択外国語科目扱い）となっています。インテンシブコース初級の目標は、スペイン語文法の全体像を把握し、簡単な文章の読み書きができ、初歩的な会話能力を身につけることにあります。1 年後には辞書さえあれば何とかスペイン語の簡単な物語や新聞記事を読むことができ、スペイン、メキシコ、キューバ、コスタリカ、ペルー、チリ、アルゼンチンといった国々を言語の障壁なく旅行している自分の姿を想像して努力してください。

2年生に進級する際の注意点

⑴　文法速習授業（折井、浜田担当）の秋学期の成績が２つともC評価であった場合、インテンシブコース中級に進むのは困難と判断されますので、２年生からはレギュラーコース中級にコース変更をしてください。ただし、２年生になってからもどうしてもインテンシブコースを続けたい場合は、あらかじめスペイン語学習指導担当教員に相談し、許可を得てください。

⑵　入学時に、各授業の定員は決められておりますので、コースの変更は極めて困難となります。したがって、２年生進級時に上記⑴以外の理由で安易にレギュラーコースに変更することのないようにお願いします。やむを得ない事情がある学生は、事前にスペイン語学習指導担当教員への相談が必要です。

⑶　今年度のスペイン語学習指導担当教員は浜田和範です。

３　辞書（1年生、2年生共通）

各授業には中規模サイズの西和辞典か電子辞書を必携してください。法学部では下記の辞書を推薦していますので、新たに購入する際には参考にしてください。

①　『西和中辞典』小学館
②　『クラウン西和辞典』三省堂
③　『プエルタ新スペイン語辞典』
④　カシオやシャープの電子辞書（スペイン語のコンテンツが使えるもの）

ポケットサイズの辞書では勉強になりません。また、授業中に携帯電話、パソコン、タブレット等、通信機能のある端末を使用することは原則禁止しています。ただし、担当者ごとに個別のルールがある場合がありますので、その場合は担当者の指示に従ってください。いずれにせよ、これらの端末で授業に関係のない行為を行うことは厳禁です。

辞書の扱いについては、以下でより詳しく説明しています。https://user.keio.ac.jp/~hou.esp/autodidactismo.html

法学部

第8 スペイン語の履修について（2年生）

1 レギュラーコース中級（週2回）

第2学年設置科目のスペイン語第Ⅲ（平易なレベル）ないしスペイン語第Ⅳ（通常レベル）を通年で週2コマ履修します。

スペイン語第Ⅲ

前年度、とりあえずギリギリの成績で1年次のスペイン語の単位を取得したものの、このままでは2年次のスペイン語の授業についていけないかもしれない、このままだと3年次に「来日」してしまうかもしれない…。スペイン語第Ⅲはそんな不安を抱えた人を対象にした平易なレベルのクラスです。A群に「各駅停車スペイン語講読」、B群に「エクスプレス・スペイン語文法」を1コマずつ設置してあります。A群、B群ともにスペイン語第Ⅲを履修することも可能ですし、1コマだけスペイン語第Ⅲ、もう1コマはスペイン語第Ⅳとすることも可能です。

スペイン語第Ⅲの履修者には標準点としてBが与えられます。もちろん、出席が不足したり、試験の結果や平常点が悪ければCやDがつきます。簡単に単位がもらえる授業とは誤解しないでください。原則SとAはつきませんので、SとAのコレクターにはスペイン語第Ⅳの履修を勧めます。スペイン語第Ⅲの履修を希望しない人は、外国語Webエントリーでスペイン語第Ⅳのみを選択してください。

また、再履修者で、昨年度以前に「各駅停車スペイン語講読」の授業を履修し、春秋いずれかの学期で単位を取得したことのある学生は、担当者が異なっていても、再度「各駅停車スペイン語講読」を履修することはできませんので、外国語Webエントリーを行う際に、希望選択肢に入れないでください。「エクスプレス・スペイン語文法」に関しても同様です。

スペイン語第Ⅳ

通常レベルのクラスです。スペイン語第Ⅲの履修を希望しない場合は、スペイン語第Ⅳを週2コマ履修してください。

外国語Webエントリーについて

⑴ レギュラーコース中級の授業はA群、B群に分けられており、A群とB群それぞれについて外国語Webエントリーを行ってください。その後、コンピュータによる振り分けを行い、第Ⅲと第Ⅳが1コマずつか、第Ⅲまたは第Ⅳが2コマ割り振られることになります。

⑵ 再履修者で週1コマのみ履修する場合は、A群またはB群のどちらかを選択して外国語Webエントリーを行ってください。

外国語Webエントリー期間等詳細は、本書「外国語Webエントリーについて」を参照してください。

2 インテンシブコース中級（週4回）

週4回の授業はそれぞれ、口語表現演習、中級文法、作文、講読の授業となっており、バランスよくスペイン語を習得していきます。スムーズに日常会話をこなし、辞書を参照しながら多少複雑な文章が読め、手紙やメールが書けるレベルのスペイン語力を目指します。インテンシブコース中級修了時点で、DELEのB1に合格する程度を想定しています。

3 三田キャンパス設置のスペイン語授業（参考）

三田キャンパスにも、自由に履修できる上級者向けのスペイン語の授業がいくつか設置されています。せっかく日吉での2年間を費やして懸命に学んだスペイン語、さらに磨きをかけ、頼れる武器にしてほしいと思います。

レギュラーコース上級（スペイン語第Ⅴ）

レギュラーコース中級修了者向けに週２コマ設置されています。インテンシブコース中級修了者も履修できます。１コマでも２コマでも、自由に選択して履修してください。

インテンシブコース上級

インテンシブコース中級修了者向けに週５コマ設置されています。自由に選択して履修してください。同一学期に３コマ以上履修すると、選択外国語科目として単位認定されます。同一学期に２コマ以下を履修する場合は自由科目となります。

文献講読(西書)

週１コマ設置されています。政治学科設置の科目ですが、法律学科生も履修できます。

法学部

第 9　中国語の履修について（1・2 年生）

1　インテンシブコース（初級）

⑴　概要

中国政治や中国経済の動向は、国際関係や日本外交、世界経済などに大きな影響を及ぼし、それらと密接な関係を有している。中国を知ることは、日本を知り世界を知ることにもつながるのである。こうした中国を知るための道具として中国語を身につけたい、あるいは将来それを活用できる仕事がしたいといった希望に応えるために中国語インテンシブコースは設けられている。したがってこのコースでは、現代中国に直結した実践的な中国語を習得することができる。

中国語インテンシブコースは、90分間の授業を 1 、 2 年次にそれぞれ週 4 コマ、 3 年次に週 3 コマ（ただし三田での履修方法に関しては別規定あり）履修する集中講義である。なお、 1 、 2 年次においては週 4 コマのうち 2 コマが必修外国語科目の 4 単位、残り 2 コマが選択外国語科目の 4 単位として扱われる。そして 3 ないし 4 年間にわたって全てを履修すると、インテンシブコース修了証が学部から授与される。

⑵　授業内容

⒜　1 年次（日吉）

正確かつ美しい発音の中国語を話せるようにすることが、このインテンシブコースの最大の目標である。そのため、 1 年次の初級クラス週 4 コマの授業は、日本人及び中国人の教員による基礎発音と「四声」の徹底的かつ厳格な訓練が行われる。中国語は美しい発音にその特徴がある。そうした中国語をマスターするには、それなりの代償を払わなければならない。発音と「四声」は中国語の「命」であるとまで言われている。この最大の関門を突破しない限り、本物の中国語をマスターしたとは言えないのである。

また、不正確な中国語の基礎発音と「四声」がこの時期に身についてしまうと、後になって「矯正」するのは大変困難である。週 4 コマの丁寧な発音の指導、そして映像や音声などの副教材による、視覚と聴覚両面からの反復練習により、学生諸君は中国語の正しい発音を自然に習得できるであろう。

基礎発音と「四声」がひとまず安定したところで、初歩的な中国語会話に進んでいく。少しずつ語彙を増やしながら、とくに中国人教員の授業は徐々に分かりやすい中国語での講義に切り替えられていくことになる。 1 年次が終わる頃には、授業の三分の一は中国語で講義しても聞いて分かるようになる。一方､学生諸君には毎回必ず中国語を話す－そうでないと｢出席」とは認められない－義務が課せられる。

なお、 1 、 2 年次を通じて、中国社会を知り、理解するための解説が織り込まれる。

⒝　2 年次（日吉）

2 年次の中国語インテンシブコースも、90分間の授業が週 4 コマある。このコースの基本主旨である「話す」「聞く」ことが重点であることに変りはないが、一応ある程度の語彙を習得し、初歩的な構文や文法を理解したところで、口頭での自己表現を文章で書き表すための訓練も始める。多くの学生は、長年日本語の中で漢字を理解してきたため、その漢字を使って自分の意志を表現するとき、しばしば日本語的な発想や表現に陥ってしまう。その過ちを指摘し、適切な中国語に改める過程で、文法上の問題点や中国語の慣習的使用法などの説明も加え、学生諸君の中国語運用能力を高めていく。時には学生の作文を板書し、その他の学生全員に「添削」してもらい、最後に教員がその正誤を指摘することによって、作文能力の向上を図る。漢字は表意文字であり、長い歴史的、文化的背景があるため、文章の微妙なニュアンスの違いは、ネイティブの教員に指摘してもらうのが一番効果的である。 2 年次の授業が終わる頃には、授業の四分の三を中国語で講義しても理解できるようになる。学生諸君も日常生活の会話を中国語で表現することができるようになる。また簡単な手紙、日記あるいは感想文を中国語で書くこともできるようになるだろう。そして、辞書を使えば『人民日報』等の中国語文献を読解できるような力が養われるにちがいない。

⑹　3年次（三田）

３年次に三田へ移っても、引き続きインテンシブコースを履修することができる。三田の中国語インテンシブコースは、90分間の授業を週３コマ行う。ネイティブの教員は、原則として講義をすべて中国語で行う。

教室では、中国語以外の発言を厳禁する。総仕上げの段階にあたるので、教科書以外に中国語のビデオや映画鑑賞も取り入れられることがある。ビデオや映画鑑賞の後は、内容に関する質疑応答、議論や感想を中国語で行い、より実践的かつ高度な中国語会話の習得を目指す。このような訓練を積み重ねていくことにより、自分の意見を中国語で表現する能力の向上に努める。また、口頭での発表に加え、感想を文章で書き表す練習も行う。さらに中国の放送を聞き取る訓練、短時間で中国語の資料を読みこなす練習、正確で美しい日本語に訳す作業、そして繁体字の読解等も行なわれる。この段階になると、日常会話はもとより、専門的知識を必要とする議論も中国語で表現できるようになる。３年次の中国語インテンシブコースを修了すると、中国留学に充分耐えうる中国語能力を身につけることができるであろう。より詳しい授業内容を知りたい者は、三田の履修案内を参照してほしい。

２　レギュラーコース1年生（初級）

レギュラーコースでは、指定されたクラスで週２コマを履修する（通年で４単位）。これまで中国語を学んだ経験のない学生を対象とする。レギュラーコースの授業内容や到達目標は、インテンシブコースと同等であるので、前項を参照すること。レギュラーコースとインテンシブコースとの違いは、週当たりのコマ数だけである。レギュラーコースにおいても、中国へ旅行したり中国で生活したりするために必要不可欠な日常会話を十分学ぶことになる。

３　レギュラーコース2年生（中級）

レギュラーコース（中級）は、指定されたクラスで週２コマ履修する（通年で４単位）。

４　1年次の成績評価Dの新2年生

１年次の初級で評価Dを受けた者、および留年した者については、本書「必修外国語科目の再履修について」を熟読し、その規定に従って手続きをすること。不明な点は中国語学習指導（林秀光）に問い合わせること。

５　既習者1年生

国内外を問わず、長期にわたって中国語を学んだ経験がある学生や、ネイティブ・スピーカーに準ずる中国語能力を有している学生は、大学入学に当たって、新たな外国語の学習に挑戦してください。不明な点があれば中国語学習指導（林秀光）に問い合わせること。

法学部

第10 ロシア語の履修について（1・2年生）

1 レギュラーコース

レギュラーコースでは、1・2年次を通して週2回の授業があります。（通年2単位×2クラス＝4単位）

1年次はロシア語を初めて学ぶ人を対象に、文字と発音から始めて基礎文法をしっかり学びます。独自の文法教材で体系的な学習をするほか、会話のフレーズを少しずつ覚え、春学期末には簡単な自己紹介と「何かを見せながら説明する」プレゼンテーションを、秋学期末には自分の興味に応じたミニスピーチをしてみましょう。毎年、12月に行われる外国語教育研究センター主催の「ロシア語フェスタ」にも参加して学習成果を発表しています。外国語教育研究センターの特設科目「ロシア語表現技法1」を合わせて履修するのがお薦めです。

2年次になると、1コマはネイティブの先生が担当します。引き続きロシア語の中級文法を学ぶとともに、ネイティブの先生との対話を通じて、ロシア語での簡単なコミュニケーションや、準備をしたうえでの少し専門的なプレゼンテーションにも挑戦しましょう。その成果をぜひロシア語フェスタで発揮してください。外国語教育研究センターの特設科目「ロシア語表現技法2」を合わせて履修すると、ネイティブの先生とごく少人数で会話ができ、お薦めです。

ロシア語は文法的なトピックが多く、レギュラーコースの2年間では中級文法の後半が残ってしまいます。三田に設置されている「ロシア語V」はそうしたレギュラーコースの皆さんのための文法完成クラスです。3年次にはぜひ「ロシア語V」を履修し、かつ3・4年次を通して「文献講読」（憲法その他を読む）や「ロシア語インテンシブ」（4コマ設置されており1コマでも履修可能）で少しずつでもロシア語の勉強を続けましょう。

2 インテンシブコース

インテンシブコースでは、1・2年次を通して週4回のロシア語の授業があり、3・4年次にも週3コマ以上の授業を履修して、ロシア語とロシアについての高度な知識を身に着けます。

1年次はロシア語を初めて学ぶ人を対象に、文字と発音から始めて基礎文法をしっかり学び、一年間でロシア語の体系を一通り理解します。独自の文法教材と会話教材を用い、週3コマは日本人講師の丁寧な説明と豊富な練習問題で文法の基礎を固め、週1コマは学んだ文法を活かしながらネイティブ講師とどんどん会話をします。12月に行われる外国語教育研究センター主催の「ロシア語フェスタ」では、毎年、1年生ながら優れた発表を行っています。

2年次では、週2コマは中級文法の理解と運用を完成させ、もう2コマでは映画や文学など生のロシア語に接しながら、読解・聴解・発話・作文の総合的な力をつけていきます。1コマはネイティブの先生が担当します。通常ロシア語フェスタを運営する立場となります。ロシア語圏への短期・長期の留学を考える学生も多くいます。

3年次に進級すると、三田には4コマの「ロシア語インテンシブ」（うち2クラスはネイティブ講師、2クラスは通訳者や翻訳家が担当）のほか、憲法も読む「文献講読」、外国語教育研究センター特設科目「ロシア語聴解」など、多様でユニークな授業が設置されています。これらを年3コマずつ履修して「インテンシブ修了証」を獲得し、ロシア語の高い運用能力を携えて社会へ羽ばたいて下さい。毎年ロシア語フェスタには日本各地、世界各地で働く卒業生たちがメッセージを寄せてくれます。ロシア語インテンシブを卒業した学生は、仕事でロシア語を使うか使わないかに関わらず、卒業後も繋がりを持ち続けるのが特徴です。

3 1年で成績評価Dの2年生は？

第1年次に初級の必修外国語でDの評価を受けた者、および留年した者については、本書「必修外国語科目の再履修について」を熟読し、その規定に従って手続きをすること。

第11　朝鮮語の履修について（１・２年生）

法学部

第11　朝鮮語の履修について（１・２年生）

１　インテンシブコース

指定されたクラスを週４コマ履修してください。通年で８単位になります。
（法学部朝鮮語では、朝鮮語を必修で学んでいる学生以外の履修を許可しておりません。）

２　レギュラーコース

指定されたクラスを週２コマ履修してください。通年で４単位になります。
（法学部朝鮮語では、朝鮮語を必修で学んでいる学生以外の履修を許可しておりません。）

３　1年で成績評価Dの2年生は？

第１年次に初級の必修外国語でDの評価を受けた学生、および留年した学生については、本書「必修外国語科目の再履修について」を熟読し、その規定に従って手続きしてください。

法学部

第12 アラビア語の履修について（1・2年生）

1 レギュラーコース

1年次では、教科書「みんなのアラビア語」を使用し、以下の項目を体系的に学んでいきます。

【1年次の学習内容】

- アラビア文字の読み書き
- 基本的な挨拶表現、自己紹介
- 基本的な名詞文、所有表現、動詞の活用
- 日常的な表現・会話

授業は、ネイティブスピーカーの講師が担当し、実践的な発音指導と会話練習を重視しながら進めていきます。各レッスンの終わりには、学んだ表現を使用した実践的な会話演習を行い、確実な定着を図ります。リスニングやスピーキングの練習も豊富に取り入れ、アラビア語の音に十分に慣れることができるよう工夫されています。

このように段階的な学習を通じて、2年次以降のアラビア語学習の基礎を築きます。

2年次では、独自に開発された教材を用いて、より高度な表現力の習得を目指します。

【2年次の学習内容】

- 語彙力の強化
- 装飾表現及び接続表現などと言った文章の洗練化
- 詳細な状況説明力の養成

これらの学習を通じて、アラビア語での円滑なコミュニケーション能力を育成し、より豊かな表現力を身につけることができます。

授業では、実践的な会話演習や作文課題を通じて、学んだ表現を積極的に活用する機会を設けています。

従来の日本におけるアラビア語教育では、文献講読や文法理解に重点が置かれることが一般的ですが、本コースでは実践的なコミュニケーション能力の育成を中心に据えた授業を展開しています。

2 インテンシブコース

『3年間で培う、包括的なアラビア語運用能力』

アラビア語インテンシブコースは、コミュニケーション能力に加え、読解力・文章力・文法理解など、アラビア語の総合的な運用能力を体系的に養成するコースです。

【1年次：基礎レベル ―土台づくり―】アラビア語の本質的な理解と基礎力の確立：

- アラビア文字体系の徹底理解、発音・音韻規則の体系的習得
- 文法の基礎（名詞・動詞変化、文構造）の理解
- 会話・作文・読解・聴解技能

【2年次：中級レベル ―応用力と表現力の充実―】知識を実践力へと昇華させる段階：

- より複雑な文法事項の習得（不規則動詞）、アラビア語の文体・修辞法への理解
- 新聞記事や文学作品の読解
- ディスカッションやプレゼンテーション能力の向上
- 方言に触れてみる

【3年次：上級レベル ―高度な言語運用能力の完成―】専門的・学術的な場面にも対応できる総合力の確立：

- 高度な文法・修辞法の習得
- 古典から現代までの多様なテキスト読解・論文講読
- 時事問題や専門的テーマについて議論

【習得後の活用場面】以下のような場面で活かすことができます：

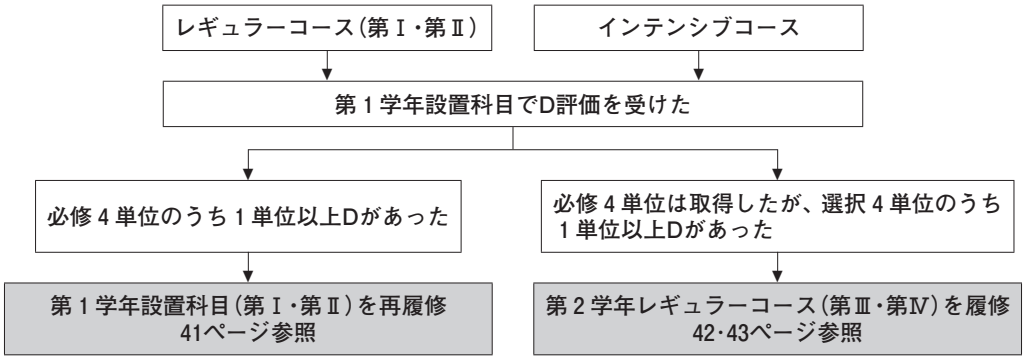
- 大学院などでの研究活動、古典文献の読解
- メディア分析・翻訳
- 国際機関、外務省などでの実務
- ビジネスコミュニケーション、異文化理解、交流活動

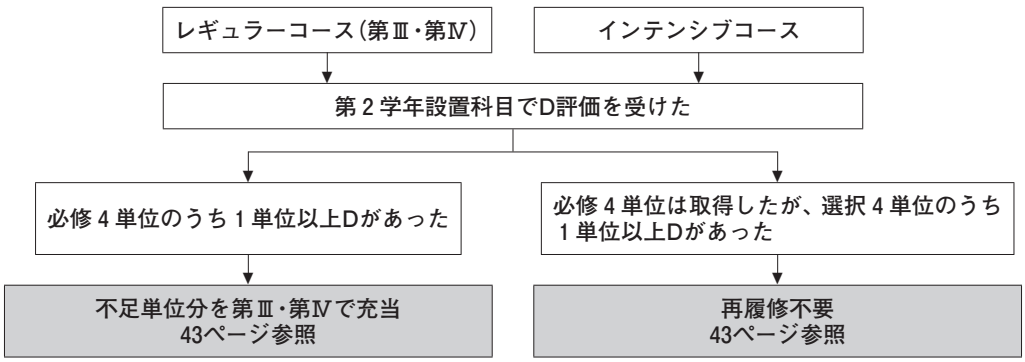
法学部

第13 必修外国語科目の再履修について
（ドイツ語・フランス語・スペイン語・中国語・ロシア語・朝鮮語・アラビア語）

ドイツ語・フランス語・中国語・スペイン語・ロシア語・朝鮮語・アラビア語の再履修について。英語の再履修については18〜19ページを参照してください。

再履修チャート





☆ただし、フランス語の第Ⅳ不足分を第Ⅲで充当することはできません。

●三田のインテンシブコースは履修できません。
●フランス語は週1コマの単独クラス「フランス語第Ⅴ」履修を推奨

◆再履修にあたり特に注意が必要な点

＊取得できていない学期の科目を再履修する必要があります。例えば、春学期分は取得済み・秋学期分は未取得の場合、秋学期分を再履修しなければなりません。秋学期不合格分を春学期分で振り替えることはできません。

＊なお、秋学期分のみ再履修する場合、春学期から授業を受けている学生との間に習熟度の差が生まれやすいので、通年での履修を推奨します。取得済みの春学期分はB欄申告で選択外国語（卒業・進級単位に含められる）として履修してください。

1　レギュラーコースの再履修について

⑴　第１学年設置科目（第Ⅰ・第Ⅱ）を再履修する場合

①　第１学年設置科目である第Ⅰ（春２単位）、第Ⅱ（秋２単位）の１単位分でもD評価があった場合、第２学年設置科目（第Ⅲ・第Ⅳ）を履修することはできず、第１学年設置科目のうち取得ができなかった学期分の科目を次年度に再履修する必要があります。

②　**第１学年設置科目（第Ⅰ・第Ⅱ）と第２学年設置科目（第Ⅲ・第Ⅳ）を同時に履修することはできません。**したがって、第Ⅰ・第Ⅱを第２学年で再履修した場合、第Ⅲ・第Ⅳについては第３学年に進級した後、日吉で履修することになります。なお、第３学年の学年末の時点で第１学年設置科目（第Ⅰ・第Ⅱ）未修了の場合、第４学年に進級することはできません。

③　前年度取得が出来なかった科目は、翌年度「必修外国語科目」としてA欄で履修申告をしてください。取得ができていない学期の科目を再履修する必要があるため、秋学期不合格分を春学期分で振り替えることはできません。
以下の４パターンのいずれかに従って申告してください。

⑻　前年度全て（４単位）不合格だった
→全て（４単位）を「必修外国語科目」としてA欄で履修申告

⑼　前年度春学期１単位のみ取得し、残り（３単位）は全て不合格だった
→取得済みの春学期１単位分を除く残り３単位を「必修外国語科目」としてA欄で履修申告

⑽　前年度春学期２単位は取得したが、秋学期２単位は不合格だった
→取得済みの春学期２単位分を除く残り２単位を「必修外国語科目」としてA欄で履修申告

⑾　前年度秋学期１単位のみ不合格だった
→秋学期不合格だったクラスのみを再履修する必要あり（春・秋ともに取得できたクラスについては再履修する必要はなし）。残り１単位を「必修外国語科目」としてA欄で履修申告

（前年度の取得状況）　　（今年度の履修）

	春学期（第Ⅰ）	秋学期（第Ⅱ）		春学期（第Ⅰ）	秋学期（第Ⅱ）
(a)	×	×	→	○	○
	×	×		○	○
(b)	○	×	→	ー	○
	×	×		○	○
(c)	○	×	→	ー	○
	○	×		ー	○
(d)	○	○	→	ー	ー
	○	×		ー	○

○は合格、×は不合格　　○は「必修外国語科目」（A欄履修申告）
ーは履修申告不要

④　上記の表で履修申告不要となっているものを選択外国語科目として履修申告（B欄申告）することも可能です。B欄申告をする際に選択するB欄分野番号は以下を参照してください。（※A欄申告、B欄申告については「法学部履修案内」の「A欄申告・B欄申告」のページ参照）

ドイツ語	B02	フランス語	B03	中　国　語	B04	スペイン語	B05
ロシア語	B06	朝　鮮　語	B10	アラビア語	B15		

⑤　クラス指定科目を再履修する場合は、自分が指定されたクラスを再履修する必要があります。必修科目との時間割重複などにより、履修ができない場合は履修クラス相談手続き期間に各語種の学習指導教員に相談してください。Webエントリーでクラスを決める科目についてはエントリーを忘れないよう注意してください。

⑵ 第２学年設置科目（第Ⅲ・第Ⅳ）を再履修する場合

① 第２学年設置科目である第Ⅲと第Ⅳで取得する必要のある４単位のうち、１単位分でもD評価を受けた場合、その単位分第Ⅲ・第Ⅳの授業を再履修する必要があります。第２学年設置科目の再履修においては、第Ⅲ不足分の代わりに第Ⅳ、第Ⅳ不足分の代わりに第Ⅲを再履修することも可能です。ドイツ語とフランス語については事情が若干異なりますので注意してください。

ド イ ツ語：原則としてD評価を受けた単位分ドイツ語第Ⅲを履修。ドイツ語第Ⅳで再履修することも可能だが、第Ⅳの方がレベルが高いので履修にあたっては十分注意してクラスを選択すること。

フランス語：フランス語第Ⅲ不足分の代わりにフランス語第Ⅳを再履修することも可能。ただしフランス語第Ⅳの不足分をフランス語第Ⅲで充当することはできない。

② 再履修については以下の３パターンのいずれかに従って申告してください。

⑷ 前年度春学期・秋学期両方不合格だった

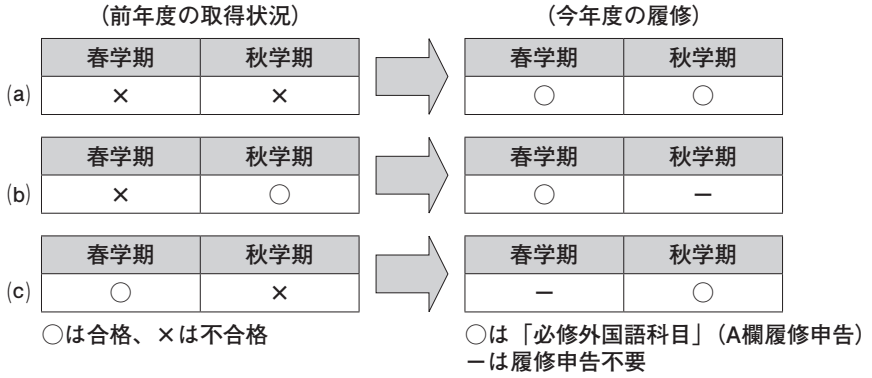
→春学期分・秋学期分ともに「必修外国語科目」としてA欄で履修申告。

⑸ 前年度春学期のみ不合格だった

→春学期分のみを「必修外国語科目」としてA欄で履修申告

⑹ 前年度秋学期のみ不合格だった

→秋学期分を「必修外国語科目」としてA欄で履修申告。必ず前年度不合格だった学期分を「必修外国語科目」（A欄）で申告すること。秋学期不合格分を春学期分で振り替えることはできない。



③ 上記の表で履修申告不要となっているものを選択外国語科目として履修申告（B欄申告）することも可能です。（※A欄申告、B欄申告については「法学部履修案内」の「A欄申告・B欄申告」のページ参照）

④ クラス指定科目を再履修する場合は、自分が指定されたクラスを再履修する必要があります。必修科目との時間割の重複などにより、履修ができない場合は履修クラス相談手続き期間に各語種の学習指導教員に相談してください。Webエントリーでクラスを決める科目についてはエントリーを忘れないよう注意してください。

２ インテンシブコースの再履修について

インテンシブコースは週４回で春秋合計８単位のうち、必修が４単位、選択外国語が４単位という構成になっています。必修と選択のどちらでD評価を得たかで再履修の仕方が異なるので、該当する箇所を熟読して間違いのないように履修申告してください。

⑴ インテンシブコース（１年）でD評価がついた場合

① 必修４単位のうち１単位でもD評価がある

→第２学年でインテンシブコースに進むことはできません。１年生レギュラーコース（第Ⅰ・第Ⅱ）を再履修してください。

＊再履修の手続きについては「１ レギュラーコースの再履修について」を参照してください。

＊クラス指定科目の履修については、履修クラス相談手続き期間に学習指導教員から許可を受けたクラスを履修してください。Webエントリーでクラスを決める科目についてはエントリーを忘れないよう注意してください。

② 必修４単位は取得したが、選択４単位のうち１単位でもD評価がある

→第２学年でインテンシブコースに進むことはできません。２年生レギュラーコース（第Ⅲ・第Ⅳ）を履修してください。

⑵　インテンシブコース（２年）でD評価がついた場合

①　必修４単位のうち１単位でもD評価がある

→２年生レギュラーコース（第Ⅲ・第Ⅳ）を再履修してください。
クラス指定科目の履修については、履修クラス相談手続き期間に学習指導教員から許可を受けたクラスを履修してください。Webエントリーでクラスを決める科目についてはエントリーを忘れないよう注意してください。

＊再履修の手続きについては「１　レギュラーコースの再履修について」を参照してください。

②　必修４単位は取得したが、選択４単位のうち１単位でもD評価がある

→必修単位を満たしているので再履修の必要はありません。ただし、三田設置のインテンシブコースを履修することはできません。

３　第1学年設置科目（第Ⅱ、秋学期インテンシブ）が履修不可となる場合

春学期の第Ⅰ（２単位）のうち、１単位でもD評価がある場合は、秋学期の第Ⅱに進むことができません。そのため、秋学期履修申告期間での第Ⅱの履修申告は認められません。第Ⅱの履修が予め自動登録されていた場合は、秋学期開始前に自動的に削除されます。

また**第１学年設置のインテンシブコースについても同様で、春学期必修２単位のうち１単位でもD評価がある場合は、秋学期のインテンシブ４単位の履修申告は認められません。**秋学期のインテンシブ４単位の履修が予め自動登録されていた場合は、秋学期開始前に自動的に削除されます。

４　第1学年に留年した場合

前年度の初級課程の成績に応じて再履修の仕方が変わってくるので、留年者はすべて外国語の履修方法および学習方法について、各語種の学習指導担当教員に相談し、間違いのないよう注意してください。

英　　語：近藤 康裕、平沢 慎也
ドイツ語：許 光俊
フランス語：アンリ，ナタリー
スペイン語：浜田 和範
中　国　語：林 秀光
ロシア語：熊野谷 葉子
朝　鮮　語：礒﨑 敦仁
アラビア語：大隼 エヴァ

クラス指定語学の再履修について

2020年度から語種ごとのクラス構成が変更されました。2019年度以前に入学した学生が１・２年次科目のクラス指定語学を再履修する際は、以下の表で対応するクラスの授業を履修してください。

法律学科			政治学科		
科目名	2019年度以前の履修クラス	今年度の履修クラス	科目名	2019年度以前の履修クラス	今年度の履修クラス
スペイン語第Ⅰ スペイン語第Ⅱ	A	L	スペイン語第Ⅰ スペイン語第Ⅱ	A	L
	B	M		B	M
	C	N		C	N
	D	O		D	O
	F	P		F・G	P
	G	Q		H・I	Q
フランス語第Ⅰ フランス語第Ⅱ フランス語第Ⅲ	H	A	フランス語第Ⅰ フランス語第Ⅱ フランス語第Ⅲ	H	A
	I	B		I	B
	J	C		J	C
中国語第Ⅰ 中国語第Ⅱ 中国語第Ⅲ 中国語第Ⅳ	L	F	中国語第Ⅰ 中国語第Ⅱ 中国語第Ⅲ 中国語第Ⅳ	L	F
	M	G		M	G
	N	H		N	H
	O	I		O	I
	Q・R	J		Q・R	J
ドイツ語第Ⅰ ドイツ語第Ⅱ	Q	S	ドイツ語第Ⅰ ドイツ語第Ⅱ	Q	S
	R	T		R	T
	S・T	U		S・T	U
ロシア語第Ⅰ ロシア語第Ⅱ ロシア語第Ⅲ ロシア語第Ⅳ	S	U	ロシア語第Ⅰ ロシア語第Ⅱ ロシア語第Ⅲ ロシア語第Ⅳ	S	U
朝鮮語第Ⅰ 朝鮮語第Ⅱ 朝鮮語第Ⅲ 朝鮮語第Ⅳ	T・U	F	朝鮮語第Ⅰ 朝鮮語第Ⅱ 朝鮮語第Ⅲ 朝鮮語第Ⅳ	T・U	F

法学部

第14　必修で定められた単位数以上に外国語科目を履修する場合

法学部では必修で定められた単位数以上に外国語を学ぶことができます。例えば英語を週に２コマだけでは物足りなければ１コマ多く履修したり、英語・ドイツ語履修者がさらにフランス語を履修することも可能です。また、必修で定められた８語種以外にギリシア語・ラテン語・ポルトガル語を履修することもできます。その場合、取得した単位の取り扱いは「選択外国語」となり、進級・卒業の単位に含めることができます（「自由科目」で申告した場合は卒業・進級の単位にはなりません）。必修で定められた単位を超えて履修できる外国語科目とその履修方法は【表１】を参照してください。

また、履修申告の際、以下①③の場合はA欄申告ができますが、②の場合はB欄申告を行ってください。B欄分野番号については【表２】（B欄分野番号一覧）を参照してください。A欄申告・B欄申告については法学部履修案内を参照してください。

【表１】必修単位を超えて履修できる外国語科目

履修を希望する外国語科目		単位の取り扱い	履修方法
①外国語教育研究センター特設科目		●選択外国語 ●自由科目	外国語教育研究センターが指示する必要な手続きを行う。 （詳細は「外国語教育研究センター履修案内･講義要綱」参照） ↓ 履修を許可された科目について履修申告期間中にA欄で履修申告を行う。
法学部設置外国語科目	②英語・フランス語・ドイツ語 中国語・スペイン語・ロシア語 朝鮮語・アラビア語	●選択外国語 ●自由科目	希望する言語の学習指導教員から許可を得て、履修許可を受ける（三田で開講されている英語第Ⅴはこれに該当しない）。 （履修クラス相談手続きを行い、許可を得る） ↓ 履修申告期間中にB欄分野番号（【表２】参照）履修申告を行う。 ＊Webエントリーが行われる科目も、エントリーは行わずに必ず学習指導教員の許可を得ること。
	③ギリシャ語・ラテン語 ポルトガル語	●選択外国語 ●自由科目	履修申告期間中に履修申告を行う。 ＊開講日、登録番号は法学部時間割を参照のこと。

【表２】B欄分野番号一覧

語種	B欄番号
選択外国語－英語	Ｂ０１
選択外国語－ドイツ語	Ｂ０２
選択外国語－フランス語	Ｂ０３
選択外国語－中国語	Ｂ０４
選択外国語－スペイン語	Ｂ０５
選択外国語－ロシア語	Ｂ０６
選択外国語－朝鮮語	Ｂ１０
選択外国語－ラテン語	Ｂ１１
選択外国語－ギリシャ語	Ｂ１２
選択外国語－ポルトガル語	Ｂ１４
選択外国語－アラビア語	Ｂ１５
選択外国語－イタリア語	Ｂ１６
自由科目	Ｂ９９

※A欄申告、B欄申告については「法学部履修案内」を確認してください。

法学部

第15 外国語教育研究センター特設科目について

（「外国語教育研究センター 2025年度履修案内・講義要綱」も参照のこと）

1 外国語教育研究センター特設科目の単位認定について

法学部では、外国語教育研究センター特設科目について、「必修外国語科目」の単位または「選択外国語科目」の単位として振り替えることが可能です。外国語教育研究センター特設科目の履修を希望する者は、外国語教育研究センターの『履修案内・講義要綱』を確認し、それぞれの科目に応じた手続きを踏んで履修申告をしてください。

特設科目

履修手続きにより、以下の３つに分類されます。

① 有資格証明必須科目（「英語最上級 アドバンスト英語」）
② 選考科目（初回授業で選考を行う科目）
③ その他の科目

後頁の表で「単位認定」欄が◎となっている科目は、履修して合格すれば「必修外国語科目」または「選択外国語科目」の単位として、また○となっているものは、「選択外国語科目」の単位として認定されます。

※「必修外国語科目」として履修するときの注意

⑴ 必修として履修可能なのは外国語教育研究センターより、通年（半期〔春〕・半期〔秋〕両方で連続）の履修を認められた場合のみ。
⑵ 必修として外国語教育研究センター科目を希望する場合も、外国語教育研究センターの抽選や選考で履修を許可されない場合があるので、その前に行なわれる法学部の各必修外国語履修のための手続き（外国語Webエントリー）を、必ず行っておくこと。
⑶ 外国語教育研究センターから履修を許可された科目を、必修として申告したい場合には、履修クラス相談手続き期間中に各外国語担当の学習指導に許可をもらい、法学部窓口で手続きを行うこと。同時にすでに決まっていた法学部設置の必修外国語科目を履修しないことについても許可をもらうこと。
⑷ 法学部の履修申告後、必修を選択に、また、選択を必修に変更することは一切できない。
⑸ 法学部設置の必修外国語科目に振り替え可能な外国語教育研究センター特設科目については、後頁に記載の「外国語教育研究センター特設科目の履修取り扱いについて」の一覧表を熟読のこと。

フランス語

フランス語表現技法２はフランス語中級ＡⅡとして履修できます。

ロシア語

ロシア語表現技法２はロシア語第Ⅳとして履修できます。

2　2025年度　外国語教育研究センター特設科目の履修取扱いについて

語種	科目名	担当者名	開講学期	開講地区	認定
英語	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	クラシゲ　ジェフリー　ヨシオ	春・秋	日吉	○
	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	コミサロフ，アダム	春・秋	日吉	○
	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	酒井　もえ	春・秋	日吉	○
	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	ディル，ジョナサン	春・秋	日吉	○
	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	ヘンク，ニコラス	春・秋	日吉	○
	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	バティー，ロジャー　M	春・秋	日吉	○
	英語最上級　アドバンスト英語(Ⅰ)(Ⅱ)	コネリー，マーティン　C	春・秋	三田	○
	英語異文化トレーニング(Ⅰ)(Ⅱ)	吉田　友子	春・秋	日吉	○
	英語異文化トレーニング(Ⅰ)(Ⅱ)	鈴木　雅子	春・秋	日吉	○
	英語ドラマ(Ⅰ)(Ⅱ)	横山　千晶	春・秋	日吉	○
	英語翻訳(Ⅰ)(Ⅱ)	加藤　有佳織	春・秋	日吉	○
	英語翻訳(Ⅰ)(Ⅱ)	田中　裕介	春・秋	三田	○
	英語初級(Ⅰ)(Ⅱ)	吉村，スーザン　J	春・秋	日吉	○
	英語聴解(Ⅰ)(Ⅱ)	吉村，スーザン　J	春・秋	日吉	○
	英語留学準備(Ⅰ)(Ⅱ)	マーフィー，ケビン	春・秋	日吉	○
	英語留学準備(Ⅰ)(Ⅱ)	ドゥモビッチ，ジョン	春・秋	三田	○
	英語アカデミック・ライティング(Ⅰ)(Ⅱ)	スズキ，スティーブン・タロー	春・秋	日吉	○
	英語アカデミック・ライティング(Ⅰ)(Ⅱ)	スズキ，スティーブン・タロー	春・秋	三田	○
	英語オーラル・プレゼンテーション(Ⅰ)(Ⅱ)	ヘセルトン，リチャード　W	春・秋	日吉	○
	英語オーラル・プレゼンテーション(Ⅰ)(Ⅱ)	ドゥモビッチ，ジョン	春・秋	三田	○
	英語スピーチとディベート(Ⅰ)(Ⅱ)	鈴木　雅子	春・秋	日吉	○
ドイツ語	ドイツ語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	北川　千香子	春・秋	日吉	○
	ドイツ語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	吉村　創	春・秋	日吉	○
	ドイツ語表現技法3(Ⅰ)(Ⅱ)	グロス，ダニエル	春・秋	日吉	○
	ドイツ語表現技法4(Ⅰ)(Ⅱ)	ベッカー，アンドレアス	春・秋	三田	○
フランス語	フランス語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	築山　ナタリー	春・秋	日吉	○
	フランス語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	サンティヴ，ピエール	春・秋	日吉	○
	フランス語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	前島　アンヌ・マリー	春・秋	日吉	◎
	フランス語表現技法3(Ⅰ)(Ⅱ)	シュードル，フローレンス容子	春・秋	三田	○
	フランス語表現技法4(Ⅰ)(Ⅱ)	前島　アンヌ・マリー	春・秋	三田	○
	フランス語表現技法5(Ⅰ)(Ⅱ)	ペリセロ，クリスティアン・アンドレ	春・秋	三田	○
ロシア語	ロシア語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	恩田　義徳	春・秋	日吉	○
	ロシア語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	恩田　義徳	春・秋	三田	○
	ロシア語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	後藤　クセーニヤ	春・秋	日吉	◎
	ロシア語聴解(Ⅰ)(Ⅱ)	山田　徹也	春・秋	三田	○
中国語	中国語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	周　媛	春・秋	日吉	○
	中国語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	松倉　梨恵	春・秋	日吉	○
	中国語表現技法3(Ⅰ)(Ⅱ)	劉　渇氷	春・秋	日吉	○
	中国語表現技法4(Ⅰ)(Ⅱ)	周　媛	春・秋	日吉	○
	中国語表現技法5(Ⅰ)(Ⅱ)	黄　海萍	春・秋	日吉	○
	中国語表現技法5(Ⅰ)(Ⅱ)	席　暢	春・秋	三田	○
	中国語表現技法6(Ⅰ)(Ⅱ)	黄　海萍	春・秋	日吉	○
	中国語表現技法6(Ⅰ)(Ⅱ)	蒋　文明	春・秋	三田	○
スペイン語	スペイン語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	コルメナ　ロメロ，ロベルト	春・秋	日吉	○
	スペイン語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	松川　孝祐	春・秋	日吉	○
	スペイン語表現技法3(Ⅰ)(Ⅱ)	安藤　万奈	春・秋	三田	○
ｲﾝﾄﾞﾈｼｱ語	インドネシア語ベーシック(Ⅰ)(Ⅱ)	サントーソ　ペトルス フロレンティナ，エリカ　A	春・秋	三田	○
アラビア語	アラビア語(Ⅰ)(Ⅱ)	柳谷　あゆみ	春・秋	日吉	○
	アラビア語(Ⅰ)(Ⅱ)	柳谷　あゆみ	春・秋	日吉	○
	アラビア語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	ハフィズムハンマド　ナグラ，ファトヒ	春・秋	日吉	○
イタリア語	イタリア語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	サリス，ファリエーロ	春・秋	日吉	○
	イタリア語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	フォルミサーノ，カルラ	春・秋	三田	○
	イタリア語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	サリス，ファリエーロ	春・秋	三田	○
朝鮮語	朝鮮語表現技法1(Ⅰ)(Ⅱ)	許　秦	春・秋	日吉	○
	朝鮮語表現技法2(Ⅰ)(Ⅱ)	許　秦	春・秋	日吉	○

◎は必修外国語科目として振り替えできる。○は選択外国語科目として認定。

※外国語教育研究センター特設科目を法学部の必修科目として振り替える場合、所定の履修クラス相談手続き期間に学習指導担当教員の許可を得たうえで、履修申告前に日吉学生部法学部担当に必修登録用の登録番号を確認のうえ、履修申告してください。
必修登録用の登録番号以外で履修申告した場合、必修外国語の単位にはならないので、注意すること。

法学部

第16 インテンシブコース修了証･外国語成績優秀者表彰について

インテンシブコース修了証・外国語成績優秀者表彰についての各外国語の到達目標、申請条件は以下の通りです。
申請期間、申請方法等の詳細はK-SupportのNews欄に掲載しますので注意してください。

英　語

インテンシブコース修了証

２年間16単位修了した者（原則として評価S, A, B）に与える。

外国語成績優秀者表彰

外国語成績優秀者表彰は原則としてインテンシブコース修了者から選抜するが、レギュラーコースからの成績優秀者表彰もありうる。

＜インテンシブコース選択の場合＞

1．原則として４年間英語を継続履修し、20単位（インテンシブコース16単位＋英語第Ⅴ４単位）以上を取得した者の中から、成績優秀の者。
2．履修成績は原則としてオールA以上。
3．客観的データとして各種検定試験の成績等（TOEFL／IELTS／英検など）を提出してもらい参考資料として用いる。これらの客観的データは、大学在学中に受けた試験のみ対象とする。

＜レギュラーコース選択の場合＞

1．原則として４年間継続履修する。但し、再履修は対象としない。三田で３年・４年次に英語第Ⅴを履修すること。合計14単位以上。
2．履修成績は原則としてオールA以上。
3．客観的データとして各種検定試験の成績等（TOEFL／IELTS／英検など）を提出してもらい参考資料として用いる。これらの客観的データは、大学在学中に受けた試験のみ対象とする。

ドイツ語

インテンシブコース修了証

次の条件を満たせばインテンシブコース修了証を授与する。

原則としてインテンシブコースおよび学部の認めるドイツ語科目を卒業までに26単位以上履修し、かつ最低１年間以上「インテンシブコース上級」を正規履修していること。（「学部の認めるドイツ語科目」については別に定める。またドイツ語圏の大学への留学等による不在期間の扱いは個別に考慮する。）

卒業までにゲーテ・インスティトゥートの中級修了試験（C１）または(財)ドイツ語学文学振興会のドイツ語技能検定試験準１級に合格していること、またはTestDaFですべての分野につきレベルⅣ以上で合格していることが望ましい。

その他、各種の学習の成果も判定の際に考慮する。

外国語成績優秀者表彰

1．原則としてインテンシブコースおよび学部の認めるドイツ語科目を卒業までに26単位以上履修して優秀な成績で合格し、かつ最低１年間以上「インテンシブコース上級」を正規履修していること。（「学部の認めるドイツ語科目」については他に定める。またドイツ語圏の大学への留学等による不在期間の扱いは個別に考慮する。）
2．卒業までにゲーテ・インスティトゥートの中級修了試験（C１）または（財）ドイツ語学文学振興会のドイツ語技能検定試験準１級に合格していること、またはTestDaFですべての分野につきレベルⅣ以上で合格していることが望ましい。
3．その他、各種の学習の成果も考慮する。

フランス語

インテンシブコース修了証

到達目標（この目標に到達していることを第一条件とする）

フランス語インテンシブコースは法学部生が社会に出て（あるいは大学院に進んで）フランス語を実際に高度に運用できる能力を育成することを目標とする。

具体的には、実用フランス語技能検定試験２級、DELFのB１、TCFレベル３(300点)取得もしくはそれと同等以上、かつ、論理的な長文を読解する能力、自分の意見・論をレポート等に書き表す能力も必須とする。同時に、フランス文化、フランス語圏文化全般に対する知識も有する必要がある（それゆえ、主に「聴く・話す」ことの能力判定に重きを置く各種フランス語検定試験合格だけでは十分なものとは言えない)。こうした総合的な能力の育成をフランス語インテンシブコースの達成目標とする。

- 原則として、修了証はフランス語インテンシブクラスを合計22単位以上取得したものに与える。
- ただし、留学によって、上記の条件を満たせない場合、留学先で履修した科目をインテンシブ・コースのフランス語として認める場合があるので、留学前に学習指導に相談すること。

外国語成績優秀者表彰

- 原則としてインテンシブコース修了者から選抜する。
- インテンシブコース＋選択外国語等で卒業まで継続して学習していること。
- 実用フランス語技能検定試験（仏検）２級以上あるいはDELF Ｂ２以上を取得していることが望ましい。
- 26単位以上取得していること。３年で早期卒業の場合、22単位以上取得していること。ただし、２年次以降にインテンシブコースに参加した者の単位数については考慮する。
- 成績は全てA以上。

外国語成績優秀者表彰は原則的にインテンシブコース修了者から選抜するが、レギュラーコースからの成績優秀者表彰もありうる。インテンシブコース修了者と同等以上のレベルと認められるものとして担当者から推薦のあった場合である。原則的に客観的なデータ（各種検定試験、留学時の成績等）を提出してもらう。必修＋選択外国語等で卒業まで継続して学習し、合計14単位以上、３年で早期卒業の場合12単位以上、履修した者を対象とする。三田設置クラスであるアンリ，ナタリー君担当「人文科学研究会Ⅰ-Ⅲ・Ⅱ-Ⅳ」の単位も含む。その他どの科目が認定されるかはフランス語学習指導（アンリ，ナタリー）に問い合わせること。

中 国 語

インテンシブコース修了証

到達目標

中国語インテンシブコースを修了後、中国語を用いた初歩的な実務あるいは調査研究活動を行えることを、到達目標とする。検定試験等による目安としては、中国語検定試験２級以上、中国語コミュニケーション能力検定（TECC）550点以上、中国漢語水平考試（HSK）５級以上である。必ずしも中国語による高度な論文・文章作成能力の習得を必須としないが、他方で現代中国語文を読解し、自分の考えや意図を中国語で伝えることができることは重要な達成要件である。さらに基本的な現代中国情勢や中国現代史に関する知識を習得することも、インテンシブコースの達成目標の一つである。

中国語インテンシブコース22単位以上を取得した者に修了証を授与する。ただし三田設置のインテンシブコースのうち２単位分のみについては、政治学科の専門科目である「文献講読（中国語)」を通年履修し、これに代えることも認める。詳細は「三田法学部履修案内」を参照のこと。

外国語成績優秀者表彰

原則としてインテンシブコース修了者から選抜する。インテンシブコース（３年間）＋選択外国語・文献講読等で４年間継続して学習し、合計で26単位以上取得していることが条件である。

外国語成績優秀者表彰は原則的にインテンシブコース修了者から選抜するが、以下の①～③の全てに当てはまる場合レギュラーコースからの成績優秀者表彰もありうる。①インテンシブコース修了者と同等以上のレベルと認められるものとして担当者から推薦があり、②原則的に客観的なデータ（各種検定試験、留学時の成績等）を提出でき、③必修＋選択外国語・文献講読等で４年間継続して学習し、合計14単位以上履修した者（どの科目が認定されるかは学習指導に問い合わせること)。

留学と早期卒業について

留学によって、「インテンシブコース修了証」および「外国語成績優秀者表彰」の取得条件として示された上記を満たせない場合、次の通りとする。① 留学先で法学部インテンシブコースに相当する中国語科目を履修し、帰国後に学習指導と面接の上妥当と認められれば、その留学中の履修科目をインテンシブコース２年次の選択科目２コマに充当させることができる。② 留学先で法学部インテンシブコースに相当する中国語科目を履修していない場合、中国語能力を示す検定試験の成績を提出することで取得条件を満たすことができる。検定試験の成績の目安は、中国語検定試験２級以上、中国語コミュニケーション能力検定（TECC）550点以上、中国漢語水平考試（HSK）５級以上である。また、３年次に９月卒業を予定している場合にも、早めに学習指導に相談すること。

スペイン語

インテンシブコース修了証

●インテンシブ初級８単位、中級８単位（２年次からの場合はレギュラー初級４単位、インテンシブ中級８単位）修得
●三田の２年間でインテンシブ上級、または下記の授業を計６単位以上修得
- ●文献講読（単位数は1/2に換算）
- ●人文科学特論Ⅱ（浜田・杉山が共同担当する、2024年度以降開講のGIC科目。開講は日吉キャンパスだが、三田キャンパス分として計算。単位数は1/2に換算）
- ●スペイン語第Ⅴ（2022年度修得分まで有効、最大２単位まで）
- ●スペイン語表現技法３（2022年度修得分まで有効）

外国語成績優秀者表彰

●インテンシブ初級８単位、中級８単位（２年次からの場合はレギュラー初級４単位、インテンシブ中級８単位）修得
●三田の２年間でインテンシブ上級、または下記の授業を計10単位以上修得
- ●文献講読（単位数は1/2に換算）
- ●人文科学特論Ⅱ（浜田・杉山が共同担当する、2024年度以降開講のGIC科目。開講は日吉キャンパスだが、三田キャンパス分として計算。単位数は1/2に換算）
- ●スペイン語第Ⅴ（2022年度修得分まで有効、最大２単位まで）
- ●スペイン語表現技法３（2022年度修得分まで有効）

●４年間継続して単位修得（留学等で空白期間がある場合は考慮する）
●SとAの数をあわせて26個以上（２年次から開始の場合は22個以上）

外国語成績優秀者表彰は原則的にインテンシブコース修了者から選抜するが､レギュラーコースからの成績優秀者表彰もありうる。インテンシブコースの成績優秀者と同等以上のレベルと認められるものとして担当者から推薦があれば、その場合は客観的なデータ(各種検定試験、留学時の成績等)を提出してもらう。必修＋選択外国語(三田インテンシブ上級・文献講読)等で４年間継続してスペイン語を学習し、合計18単位以上履修し、SとAの数をあわせて18個以上取得した者に限る。

ロシア語

インテンシブコース修了証

●１・２年次にインテンシブコースで学び、３年次にも週３コマ以上インテンシブの授業を履修した者には、４年次もインテンシブ週３コマを履修することを条件として、インテンシブコース修了証(ロシア語)を３年次終了時点で与える。ただし４コマあるインテンシブクラスばかりでなく、外国語教育研究センター特設科目「ロシア語聴解」と文献講読（露）を含めて各年３コマ以上なら可とする。２年次でレギュラーコースからインテンシブコースに移った者は、他のインテンシブの学生と同等以上の学力があると語種責任者（熊野谷）が認めた場合に限り、１年次の単位不足以外の条件を充たせばインテンシブ修了証を与える。
●上記の条件をわずかに外れる場合（例：３年次２コマ・４年次４コマ履修した、コマ数はやや足りないが検定試験で実力を証明したりロシア語圏に半年以上留学したりし、早期卒業するが３年次までの条件は満たした等）も、語種責任者との面談で十分なロシア語能力が認められれば修了証を与える場合がある。

外国語成績優秀者表彰

外国語成績優秀者表彰は原則的にインテンシブコース修了者から選抜し、インテンシブ修了に必要な科目の成績全てがA以上であることが必須条件。レギュラーコース出身者については、選択外国語等でインテンシブに相当する授業数と高成績

を獲得し、かつ各種検定試験で相応の級に合格したり留学で高成績を挙げたりした場合に、証明書類を提出した上で表彰される可能性がある。

朝鮮語

インテンシブコース修了証

朝鮮語インテンシブクラスで計22単位以上（うち６単位以上は三田設置クラス）を取得した者に授与する。

外国語成績優秀者表彰

原則的にインテンシブコース修了者から選抜する。朝鮮語科目を４年間、計24単位以上履修し、成績全てがSであることを必須条件とする。３年で早期卒業する学生についてはこの限りではない。

アラビア語

インテンシブコース修了証

１・２年次にインテンシブコースで学び、３年次にも週３コマ以上インテンシブの授業を履修し22単位を取得した者にインテンシブコース修了証を与えます。

外国語成績優秀者表彰

- 原則としてインテンシブコース修了者から選抜
- インテンシブ修了に必要な科目の成績全てがA以上であることが必須条件